

aiwa

地上波 / BS / 110 度 CS デジタル

ハイビジョン液晶テレビ

19V 型 TV-19H10S

取扱説明書・製品保証書



このたびはお買い上げありがとうございます。
この取扱説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。
お読みになった後は、大切に保管してください。

Contents

はじめに

安全上のご注意	3
使用上のご注意とお願い	6
主な特長.....	7

準備

同梱品を確認する	8
各部の名称	9
本体前面.....	9
本体右側面.....	9
本体背面.....	9
各部の名称 (リモコン).....	10
リモコンの準備と使いかた.....	12
スタンドベースの取り付けと壁掛け.....	13
スタンドベースを取り付ける	13
壁掛けでご使用になるとき	13
テレビを見る準備をする.....	14
アンテナを接続する.....	14
miniB-CAS カードを入れる.....	16
電源を入れる.....	16
かんたん設置設定をする	17
録画機の準備をする	18
USB ハードディスクを接続する	18
新しい USB ハードディスクを登録する.....	18
USB ハードディスクの設定をする	19
外部機器を接続する	20
ヘッドホンで聞く.....	20
外部機器の映像と音声を本機で再生する	20
オーディオ機器にデジタル音声を出力する	22
パソコンを接続する.....	23
HDMI 設定.....	24
入力表示設定.....	25
HDMI スピーカー選択設定.....	25
通信設定をする	26
ネットワーク状態を確認する	27
アンテナの方向調整.....	28
アンテナの方向調整.....	28

操作

テレビを見る	29
リモコンで番組を選ぶ.....	29
本体の操作ボタンの機能について	29
番組表を見る.....	30
視聴予約を設定する.....	31
検索条件を指定して番組を探す	31
データ放送を見る.....	32
接続した機器の映像を見る (入力切換)	33
テレビの映像を静止させる	33
便利な機能を使う	34
画面サイズを変える.....	34
画面の位置や幅を調整する	34
音声を切り換える.....	35
消音する.....	35
チャンネル情報を見る.....	35
字幕を表示する.....	36
放送メール.....	36

CS ボード.....	36
オンタイマーを使う.....	36
自動で電源が切れるようにする	37
文字を入力する.....	38

録画・予約をする	39
録画機能について.....	39
見ている番組を録画する	40
番組表から録画予約する	40
録画する日時を指定して録画予約する	41
録画設定の変更.....	41
録画を中止する.....	42
予約の確認・取消しをする	42
録画予約に関するお知らせ	42
録画した番組を再生する.....	43
録画番組を再生する.....	43
録画した番組を保護する	44
録画した番組を削除する	44

設定

メニュー画面について	45
サブメニュー画面.....	45
設定メニュー画面.....	46
映像設定メニュー	47
画質動作選択.....	47
画質の調整.....	47
高度な映像調整.....	48
シネマ設定.....	48
画面の設定.....	48
調整の初期化.....	48
音声設定メニュー	49
音声調整.....	49
音質の調整.....	49
音量調整.....	50
デジタル音声出力.....	50
音声同時出力.....	50
調整の初期化.....	50
機器設定メニュー	51
USB 機器管理	51
録画設定.....	51
視聴制限設定.....	51
表示の設定.....	52
HDMI 設定.....	52
かんたん設定.....	53
設置設定.....	53
システム設定.....	54
その他の設定.....	54



その他

故障かな?と思ったら	55
こんな場合は故障ではありません	55
全般.....	55
映像.....	56
音声.....	57
デジタル放送.....	57
録画.....	58
主な仕様.....	59
保証とアフターサービス	61
個人情報の取り扱いと商標について.....	62










安全上のご注意

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。

お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをした場合、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをした場合、人がけがをしたり、物的な損害を受けたりする可能性がある内容を示しています。

絵表示について

 禁止	 接触禁止	 ぬれ手禁止
 分解禁止	 風呂、シャワー室での使用禁止	 水ぬれ禁止
 電源プラグをコンセントから抜く	 指示	 感電注意

家庭用品品質表示法による表示 ご使用上の注意

- 1 内部の温度が上昇しますので通風孔の周囲に適切な間隔をおいてください。
- 2 温度の高い場所や湿気の多い場所は避けてください。
- 3 内部には高電圧部分があり、感電の原因となりますので、お客様による修理は絶対にしないでください。

警告



電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。

- ・電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- ・重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- ・熱器具に近づけない。加熱しない。
- ・電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

万一、電源コードが傷んだら、お買い上げ店またはアイワの相談窓口にご依頼ください。



感電注意



分解禁止

分解や改造をしない

火災や感電の原因となるためキャビネットを開けないでください。

内部には高電圧部分があるため、感電の原因となります。お客様による修理は絶対にしないでください。

内部の点検、調整、修理は、お買い上げ店にご相談ください。



水場での使用禁止



水濡れ禁止

内部に異物や水分を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。

特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

- ・通風孔から金属類や燃えやすいものを内部に差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
- ・本機の上に水の入った容器や植木鉢、小さな金属類（安全ピンやヘアピンなど）を置かないでください。
- ・水がかかるような場所では使用しないでください。



接触禁止

雷が鳴りだしたら電源プラグに触れない

感電の原因となります。



禁止

海外では使用しない

本機は国内専用です。

電源プラグを交流 100 ボルト（AC100V）の家庭用電源コンセント以外にはつながないでください。異なる電源電圧で使用すると火災や感電の原因となります。



禁止

不安定な場所に設置しない

ぐらついた台や傾いた台などに置くと、落下によるけがや物損事故の原因となることがあります。

設置場所や取り付けには気を付けて、水平で安定した場所に設置してください。

また、ラックなどにのせて設置する場合は転倒防止の処置をしてください。



接触禁止

乾電池の液が漏れたときは素手で液をさわらない

液が目に入ったときは、失明の原因になることがあるので目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。

液が身体や衣服についたときも、やけどやけがの原因になるので、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときには医師に相談してください。



禁止

通風孔をふさがない

布をかけたり、壁などに密接して置いて、通風孔をふさがないでください。過熱して火災や感電の原因となることがあります。

- ・密閉したラックの中に入れてください。
- ・じゅうたんや布団のような柔らかいものの上に置かないでください。
- ・本機の設置は周囲から 10cm 以上の間隔を開けてください。

異常時の処置

故障したまま使い続けると、火災や感電、けがの原因となります。

次のような症状が見つかったらただちに電源スイッチを切って、電源コードをコンセントから抜き、お買い上げ店または、アイワ修理ご相談窓口（裏表紙に記載）に修理をご依頼ください。

- ・異常な音や臭いがする、煙が出ているとき
- ・内部に水や異物が入ったとき
- ・本機を落とした、本機の一部を破損したとき
- ・正常に動作しないとき（画面が映らない、音が出ない）
- ・電源コードやプラグに傷があるとき

電源プラグをすぐに抜くことができるように、すぐに手が届く位置のコンセントを使用して設置してください。

⚠ 注意



禁止

湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所や直射日光のあたる場所には置かない

火災や感電の原因となることがあります。とくに風呂場では絶対に使用しないでください。



水場での使用禁止



プラグをコンセントから抜く

お手入れの際、電源プラグを抜く

電源プラグを差し込んだままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。



ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグにさわらない

感電の原因となることがあります。



プラグをコンセントから抜く

移動させるとき、長期間使わないときは、電源プラグを抜く

電源プラグを差し込んだまま移動させると、電源コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。長期間の外出・旅行のときは安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。差し込んだままにしていると火災の原因となることがあります。



指示

液晶パネルを強く押ししたり、強い衝撃を与えたりしない

液晶パネルのガラスが割れてけがの原因となることがあります。液晶パネルが割れた場合、パネル内部の液体には絶対に触れないでください。皮膚の炎症などの原因となることがあります。万一パネル内部の液体が口に入った場合は、すぐにうがいをして医師にご相談ください。また、目に入ったり皮膚に付着した場合は、清浄な水で最低 15 分以上洗浄した後、医師にご相談ください。



指示

乾電池の取り扱いについて

乾電池の使い方を誤りますと、液漏れや発熱、破裂する恐れがありますので次のことをお守りください。



禁止

- 機器の表示に合わせて＋と－を正しく入れる。
- 充電しない。
- 火の中に入れてない。分解、加熱しない。
- 液漏れした電池は使わない。
- 使い切った電池は取りはずす。長時間使用しないときも取りはずす。
- 新しい電池と使用した電池、種類の違う電池を混ぜて使わない。

使用上のご注意とお願い

● 本書の表記と内容について

- 本機の仕様および機能などは、ファームウェアの更新などにより予告なく変更することがあります。
- 本書に記載されている本体や画面などのイラストは実際とは異なる場合があります。実際に表示される画面でご確認ください。

● 液晶パネルについて

- 液晶パネルには、画面の一部に欠点（黒い点）や輝点（余計に光る点）が存在する場合があります。これは故障ではありませんのでご了承ください。
- 液晶の特性により、室温が低い場合は、画像がぼやけたり、動きがスムーズに見えなかったりすることがありますが、故障ではありません。常温に戻れば回復します。
- 液晶パネルはバックライトが発光することにより画像を表示していますが、バックライトには寿命があります。常温での使用時に画像が暗くなるようになったら、アイワ修理ご相談窓口（裏表紙に記載）へご相談ください。

● 本機の温度について

本機は、長時間使用したときなどに、パネル表面や上部が熱くなる場合がありますが、故障ではありません。また、熱で変形しやすいものを上に置かないでください。

● お手入れについて

お手入れの際は、必ず本機および接続している機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

柔らかい布で軽く乾拭きしてください。汚れがひどいときは、水を含ませた布をよく絞り、拭き取った後は乾拭きしてください。

- キャビネットの変質・破損・塗料はがれの恐れがありますので、次のことをお守りください。
 - ベンジンやシンナーは使わないでください。
 - また、化学ぞうきんの使用は、注意書きに従ってください。

-殺虫剤や揮発性のものをかけないでください。
また、ゴムや粘着テープ、ビニール製品などを長期間接触させないでください。

- 液晶パネルの保護のため、次のことをお守りください。
 - パネルに硬いものやとがったものを当てたり、強く押ししたりこすったりしないでください。傷付き・変色の原因となります。
 - パネルの表面に結露による水滴など液体を付着した状態で使用しないでください。色ムラ・変色の原因となります。

● 輸送・設置について

- 本体を横倒しにして輸送した場合、パネルガラスの破損や欠点の増加のおそれがありますので、横倒しでの輸送はしないでください。
- 本棚などの通気の悪い場所に設置するときは、本体と周囲との間に十分なスペースをあけてください。

● 廃棄するとき

本機は家電リサイクル法の対象製品です。家電リサイクル法では、お客様がご使用済みの液晶テレビを廃棄される場合は、収集運搬料金、再商品化等料金（リサイクル料金）をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

● miniB-CAS カードについて

付属の miniB-CAS カードは、デジタル放送を視聴していただくために、お客様に貸与された大切なカードです。破損や紛失などの場合は、直ちに B-CAS カスタマーセンターへご連絡ください（16 ページ参照）。お客様の責任で破損、故障、紛失などが発生した場合は、再発行費用が請求されます。

主な特長

● 地上デジタル BS/110 度 CS デジタルチューナー内蔵

本機は以下の3種類のデジタル放送を受信できます。

- 地上波デジタル放送
- BS デジタル放送
- 110 度 CS デジタル放送

電子番組表 (EPG) で視聴番組を選んだり録画予約をしたりすることもできます。

アンテナについて

- 地上デジタル放送を受信するには、全帯域型または地上デジタル放送対応型の UHF アンテナが必要です。接続については 14 ページを参照してください。
- BS/110 度 CS デジタル放送を受信するには、BS・110 度 CS 用アンテナが必要です。接続については 15 ページを参照してください。
- ケーブルテレビまたは共聴・集合住宅施設でデジタル放送を受信する場合は、ケーブル事業者または共聴施設管理者にお問合せください。

● 外付け USB ハードディスクで録画に対応

別売りの外付け USB ハードディスクを接続して、本機で受信した番組を録画して楽しむことができます。

● 映像や音声を自在に調整

画面の「コントラスト」、「黒レベル調整」、「バックライト」、「色あい」、「色の濃淡」、「輪郭強調」や、音声の「低音」、「高音」、「サラウンド」、「バランス」をお好みに合わせて調整できます。

● オンタイマー／オフタイマー

設定した時刻にお好きなチャンネルで電源を入れたり、設定した時間で自動的に電源を切ったりできます。

● HDMI 端子で高品質な映像を再現

HDMI 対応の BD/DVD プレーヤーや HDD レコーダーなどの AV 機器と接続して高品質な映像を楽しむことができます。

EWS (緊急警報放送) について

地上デジタル放送の視聴中に EWS (緊急警報放送) を受信すると、画面に「緊急警報放送を受信しました」と表示されます。このとき決定ボタンを押すと、緊急警報放送が視聴できます。このメッセージはチャンネルを変えても表示されます。表示中のメッセージを消すには (Ⓜ) ボタンを押してください。EWS (緊急警報放送) とは：地震や津波などの災害発生時に、特殊な信号を放送波に割り込ませることによってテレビやラジオなどの受信機から警報音 (ピロピロ音) を出し、災害の発生と災害情報をいち早く知らせるための放送です。人命や財産に重大な影響を与える以下の3つの条件に該当する場合に行われます。

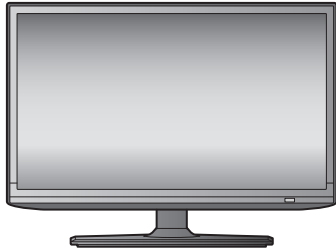
- 1) 大規模地震など災害についての警戒宣言が発令された場合。
- 2) 津波警報が発表された場合。
- 3) 地方自治体の長より、避難命令など放送の要請があった場合。

本製品は、地震や津波などの災害が発生した場合に行われる緊急警報放送の文字スーパー表示に対応しています。緊急警報放送の受信による自動起動には対応していません。

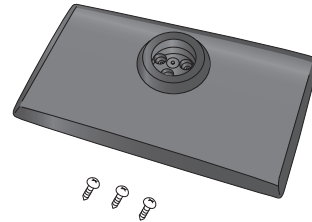
同梱品を確認する

ご購入のパッケージに以下のものがすべて入っているかご確認ください。

● 本体

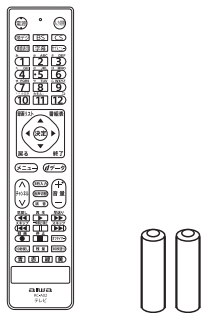


● スタンドベース



固定用ネジ (3本)

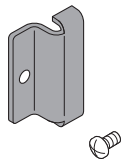
● リモコン ×1
単4形乾電池 (R03) ×2



● miniB-CASカード ×1



● miniB-CASカードスロットカバー ×1



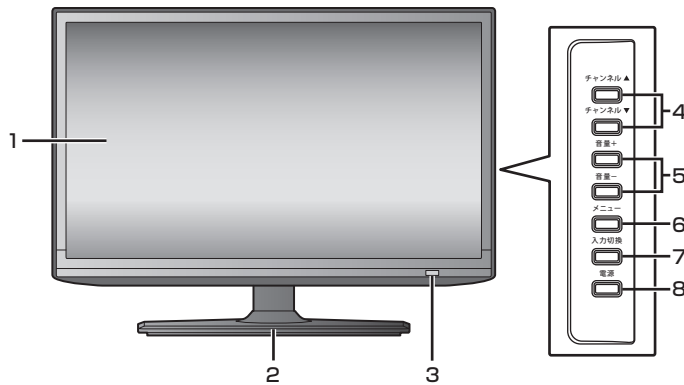
固定用ネジ (1本)

● 取扱説明書・製品保証書 ×1



各部の名称

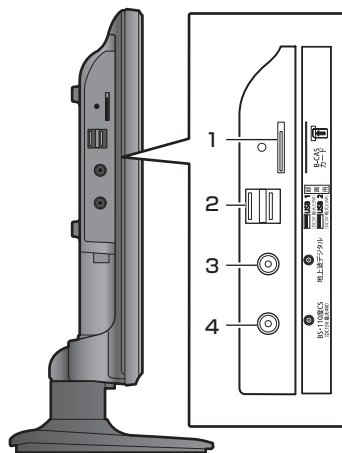
本体前面



- 1 液晶画面
- 2 スタンドベース
- 3 リモコン受光部
電源ランプ
- 4 チャンネル▲▼ボタン
- 5 音量+/-ボタン
- 6 メニューボタン
- 7 入力切換ボタン
- 8 電源ボタン

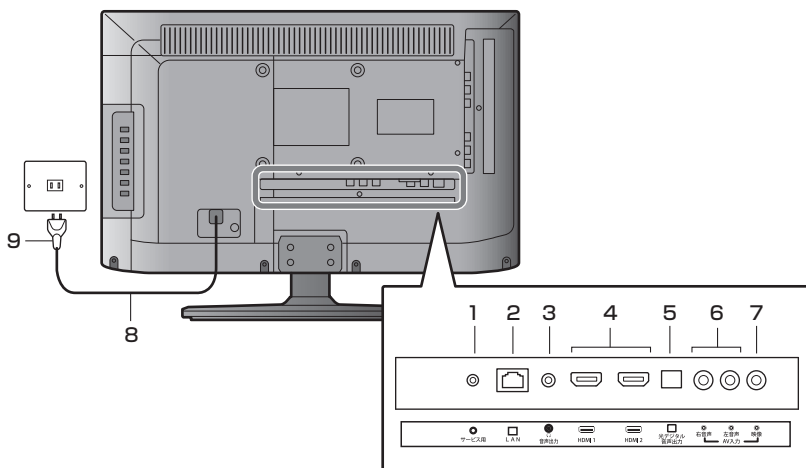
準
備

本体右側面



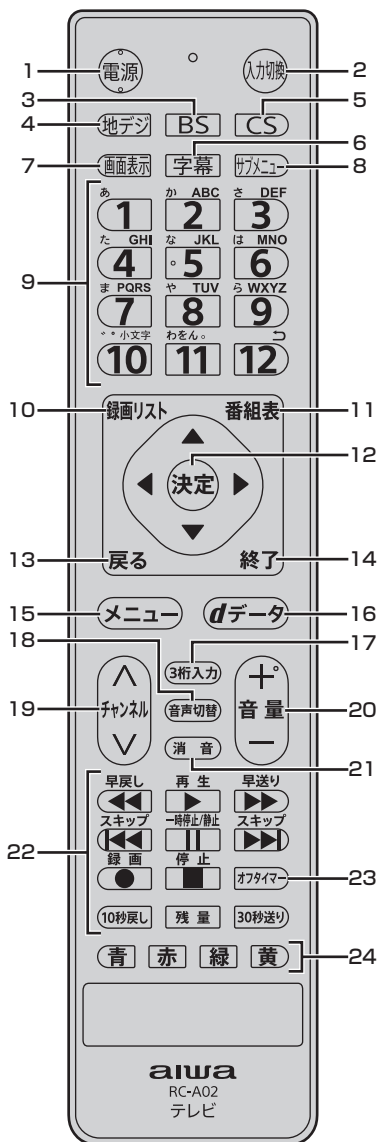
- 1 B-CAS カード挿入口
- 2 録画用端子 (USB 1/USB 2)
- 3 地上デジタルアンテナ入力
端子
- 4 BS・110度CS アンテナ入力
端子

本体背面



- 1 サービス端子
- 2 LAN 端子
- 3 音声出力端子
(ステレオミニジャック)
- 4 HDMI 入力端子
HDMI 1 (ARC 対応) /HDMI 2
- 5 光デジタル音声出力端子
(光角型ジャック)
- 6 AV 入力端子 (左音声 /
右音声)
- 7 AV 入力端子 (映像)
- 8 電源コード
- 9 電源プラグ

各部の名称 (リモコン)



- 1 **電源ボタン**
テレビの電源を入れたり、切ったりします。
- 2 **入力切換ボタン**
押すたびに入力切り換わります。
- 3 **BS ボタン**
BS デジタル放送を受信します。
- 4 **地デジボタン**
地上デジタル放送を受信します。
- 5 **CS ボタン**
110度CS デジタル放送を受信します。

- 6 **字幕ボタン**
字幕を切り換えます。
- 7 **画面表示ボタン**
現在受信している番組の情報を表示します。
- 8 **サブメニューボタン**
サブメニュー画面を表示します。
- 9 **数字ボタン**
視聴するチャンネルを選びます。英数字・記号などの入力にも使用します。
- 10 **録画リスト**
録画一覧を表示します。
- 11 **番組表**
番組表をテレビ画面に表示します。
- 12 **決定ボタン**
メニュー画面の選択内容を決定します。
- ▲▼◀▶**ボタン**
メニュー画面で、カーソルを移動します。
- 13 **戻るボタン**
メニュー画面で、1つ前の画面に戻ります。
- 14 **終了ボタン**
メニュー画面、入力切換、画面表示、番組表を消したいときに押します。
- 15 **メニューボタン**
メニュー画面を表示します。
- 16 **d データボタン**
データ放送を表示します。
- 17 **3桁入力ボタン**
3桁入力で選局します。
- 18 **音声切換ボタン**
2カ国語／ステレオなど音声を切り換えます。
- 19 **チャンネルへ▼ボタン**
チャンネルを順に切り換えます。
- 20 **音量+/-ボタン**
音量を調整します。

21 消音ボタン

音声を一時的に消します。もう一度押すと消音を解除します。

22 録画／再生機能ボタン

USB ハードディスクを接続して番組を録画や再生するときに使用します。

 録画

録画ボタン

番組を録画します。

 一時停止/静止

一時停止／静止ボタン

再生中に映像を一時停止します。テレビ放送視聴中は映像を静止します。

- 録画／再生機能ボタンについて詳しくは 44 ページをご覧ください。

23 オフタイマー

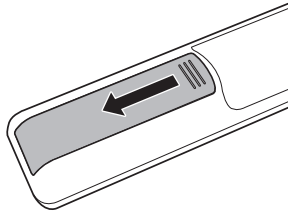
オフタイマーの設定ができます。

24 カラーボタン（青、赤、緑、黄）

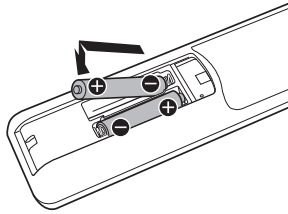
データ放送を利用する場合に使用します。
また、さまざまな機能ボタンとして使用します。

リモコンの準備と使いかた

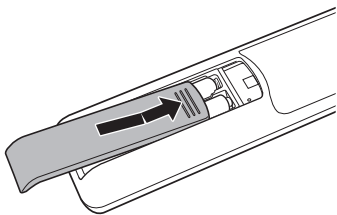
- 1 リモコン裏側の電池カバーをはずす
ツメの部分を押ししてスライドさせてください。



- 2 +、-極の方向に注意して乾電池を入れる

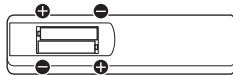


- 3 電池カバーを元に戻す



ご注意

- 新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使わないでください。新しい乾電池の寿命が短くなったり、古い乾電池から液漏れして火災やけがの原因になる場合があります。
- 乾電池の入れ方が正しくないと、リモコンの故障や火災の原因になる場合があります。



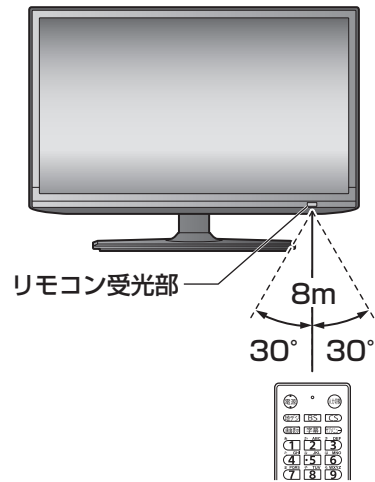
- 充電・加熱・分解したり、ショートさせたり、火の中に入れてたりしないでください。

お願い

- 乾電池は正しい電極の向きで入れてください。
- 乾電池の廃棄は、自治体の条例または規則に従ってください。
- 長期間リモコンを使用しない場合は、乾電池を取りはずしてください。

● リモコンで操作できる範囲

本体前面のリモコン受光部の正面から約8m 左右30° の範囲でお使いください。



お願い

- リモコンと本体のリモコン受光部の間に物を置かないでください。

スタンドベースの取り付けと壁掛け

スタンドベースを取り付ける

ご使用の前に、スタンドベースを取り付けてください。

スタンドベースには前後があります。前後の向きに注意して、正しく取り付けてください。

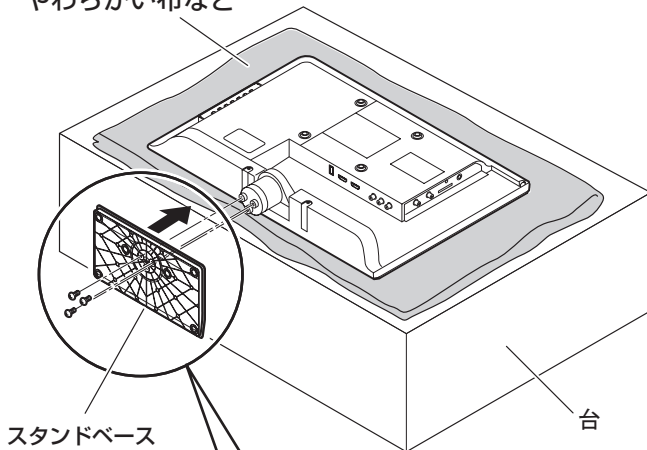
1 テーブルなどの台の上に毛布などのやわらかい布を敷き、その上に液晶画面を下向きにして本体を置く

2 本体にスタンドベースを固定する穴の位置を合わせ、付属のネジ3本で固定します。

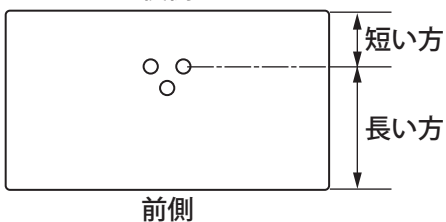
ご注意

- スタンドベースの前後を間違えて取り付けると、転倒する恐れがあります。
- 液晶パネルを傷つけないよう取り扱いにご注意ください。

やわらかい布など



後側

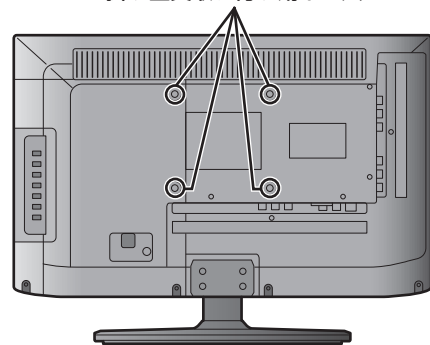


壁掛けでご使用になるとき

本機は市販の壁掛け金具を使用して、壁に取り付けることができます。

- テレビを取り付ける壁の強度には十分ご注意ください。
- 壁掛け金具の取り付けは、必ず専門の業者にご依頼ください。
- 専門の業者以外が取り付けたり、壁への取り付けが不適切だったりした場合、テレビが落下して、打撲や大けがの原因となることがあります。

掛け金具取り付け用ネジ穴



お知らせ

- 壁掛け金具については P59「主な仕様」をご確認ください。
- VESA 規格に準じた金具をご購入ください。

ご注意

- 指定以上の長いネジは使用しないでください。内部の部品へダメージを与え製品を損傷します。

● スタンドベースのはずしかた

本機を壁掛けでご使用になるときは、スタンドベースをはずしてください。

1 テーブルなどの台の上に毛布などのやわらかい布を敷き、その上に液晶画面を下向きにして本機を置く

2 スタンドベース部分のネジ (3 本) を取りはずし、スタンドベースを手前に引いてはずす

ご注意

- はずしたネジはスタンドベースと共に保管してください。

テレビを見る準備をする

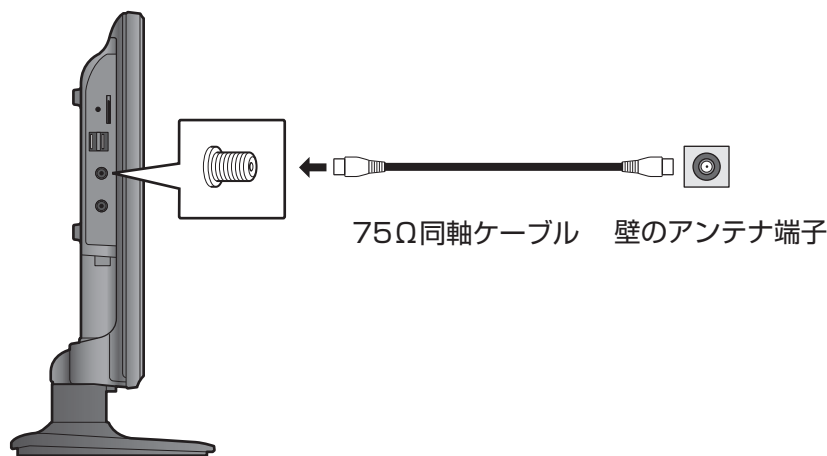
アンテナを接続する

● 地上デジタル用アンテナ線のつなぎかた

地上デジタル放送を視聴する場合は、地上デジタル放送対応型の UHF アンテナを使用してください。VHF アンテナでは受信ができません。

現在お使いのアンテナが UHF 対応であっても地域やアンテナ設置状況によっては取り替えや調整、またはブースターの追加などが必要になることがあります。

アンテナや接続に必要なアンテナ線（同軸ケーブル）などは付属していません。ご使用のアンテナの種類や使用環境条件に合わせて適切なケーブルをご用意ください。

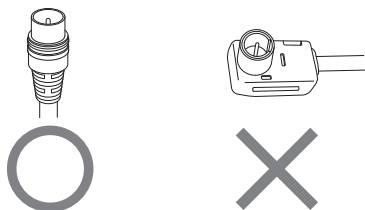


お知らせ

- 受信信号レベルは天候の影響などにより変動します。28 ページを参照し、アンテナレベルを調整してください。レベルが足りない場合はブースターなどで調整してください。
- ケーブルテレビで放送を受信している場合は、契約されているケーブルテレビ会社にお問い合わせください。

ご注意

- アンテナを接続する前に、必ず本機およびすべての接続機器の電源プラグを抜いてください。
- アンテナ工事には技術と経験が必要です。アンテナの設置や調整については販売店にご相談ください。
- 一部のアンテナプラグの形状は、アンテナ端子への挿入が困難なものがあります。アンテナプラグをご確認ください。



テレビを見る準備をする

● BS・110度CSデジタル用アンテナ線のつなぎかた

- BS デジタル放送だけを視聴する場合は BS デジタル用アンテナを、110度CS デジタル放送も視聴する場合は BS・110度CS デジタル用アンテナをご使用ください。
- 本機と BS・110度CS デジタル用アンテナの接続には、BS・CS デジタル対応のケーブル (S-4C-FB 相当) をご使用ください。
- 110度CS デジタル放送を受信する場合でブースターや BS・CS 分配器を使用する場合は、110度CS デジタル放送 (周波数 2150MHz 以上) に対応した製品をお使いください。対応していない製品を使用した場合には、110度CS デジタル放送を受信できません。

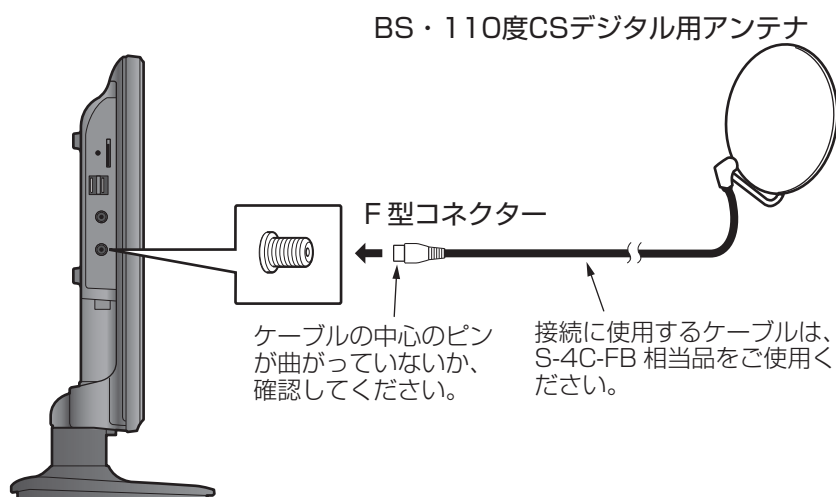
お知らせ

- 受信信号レベルは天候の影響などにより変動します。28 ページを参照し、アンテナレベルを調整してください。レベルが足りない場合はブースターなどで調整してください。

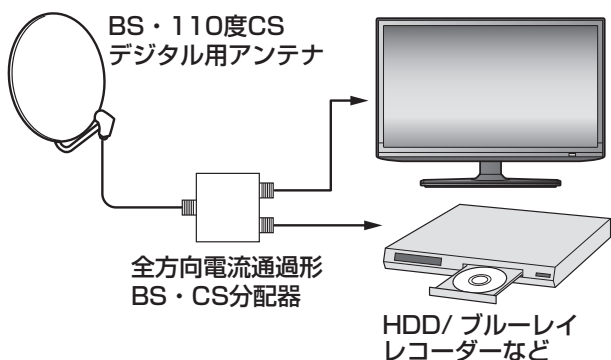
ご注意

- BS・110度CS アンテナには、必要に応じて本機の BS・110度CS アンテナ入力端子から電源を供給できます。アンテナへの電源供給の設定方法について詳しくは、17 ページをご覧ください。
- ケーブルに F 型コネクタを取付加工する場合は、芯線とアース線がショートしないようにしてください。

BS・110度CS デジタル用アンテナをつなぐとき



BS・110度CS デジタル用アンテナ 1 台で、本機など BS や 110度CS 機器を 2 台以上つなぐとき

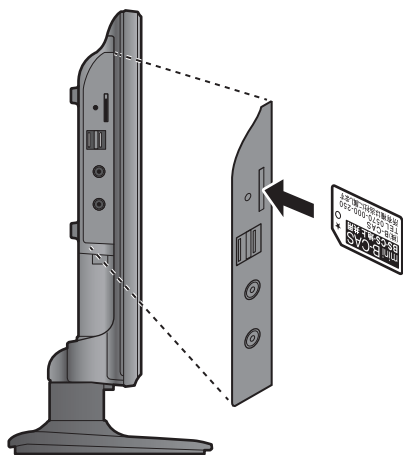


- 全方向電流通過形の BS・CS 分配器をお使いください。
- BS や 110度CS 機器をつなぐときは、BS や 110度CS 機器付属の取扱説明書をご覧ください。
- 将来、110度CS デジタル放送でチャンネルが増えた場合、ご使用のアンテナによっては分配器は使用できないことがあります。

テレビを見る準備をする

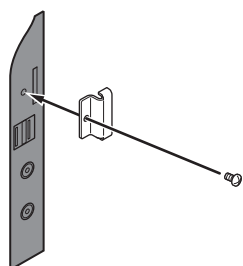
miniB-CAS カードを入れる

デジタル放送を視聴するには、miniB-CAS カードが必要です。



ご注意

- miniB-CAS カードの抜き差しは、本機の電源プラグをコンセントから抜いた状態で行ってください。
- miniB-CAS カードは、上の図のような向きで、カチッと音がするまで挿入してください。
- miniB-CAS カードの紛失防止のため、付属の miniB-CAS カードスロットカバーを取り付けてお使いください。



- 金色端子部が汚れるとデジタル放送を受信できなくなることがあります。金色端子部に触れないようにご注意ください。

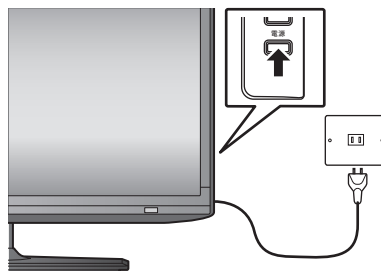
● B-CAS カードのお問い合わせについて


B-CAS カードのお問い合わせは、下記にお願いします。

B-CAS カスタマーセンター
TEL 0570-000-250 (10:00 ~ 20:00 年中無休)

電源を入れる

- 1 電源プラグをコンセントに差し込む
本体が待機状態になり、前面の電源ランプが赤く点灯します。



- 2 リモコンの  または本体背面の電源ボタンを押す

電源が入り、本体前面の電源ランプが緑色に点灯します。

画面が表示されるまでにしばらく時間がかかります。

はじめて電源を入れたときはチャンネル設定が必要です。17 ページの「かんたん設置設定をする」を参照し、設定してください。

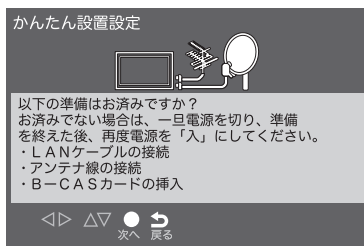
テレビを見る準備をする

かんたん設置設定をする

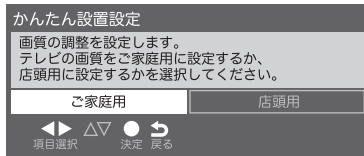
お買い上げ後、miniB-CASカードを入れてはじめて電源を入れたときは、「かんたん設置設定」で、お住まいの地域に適したチャンネルを設定します。

1 アンテナ接続と miniB-CAS カードを確認し、**決定** を押す

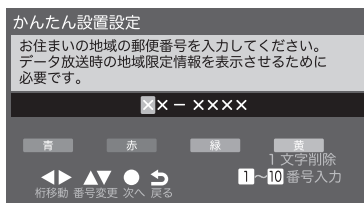
「かんたん設置設定」が表示されます。



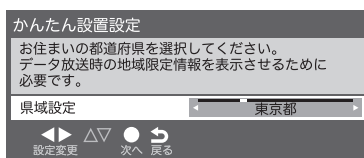
2 ◀▶で「ご家庭用」を選び、**決定** を押す



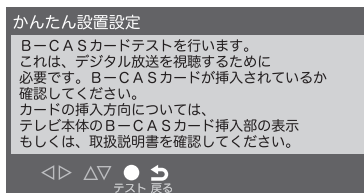
3 ▲▼◀▶または [1] ~ [10] でお住まいの地域の郵便番号を入力し、**決定** を押す



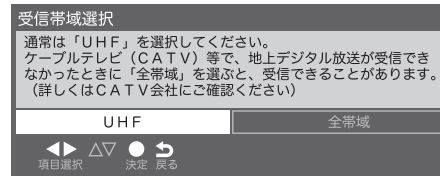
4 ◀▶でお住まいの都道府県や地域を選び、**決定** を押す



B-CAS カードテスト画面が表示されます。

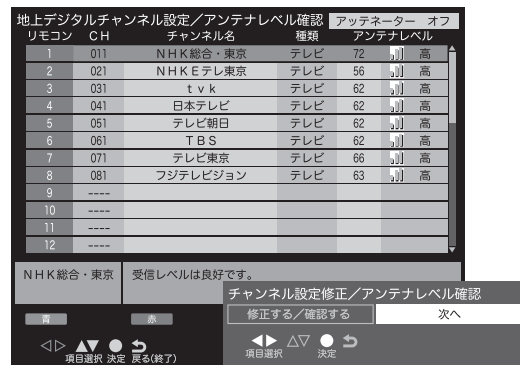


5 ◀▶で受信帯域を選び、**決定** を押す 通常はUHF を選びます。



地上デジタル放送チャンネルの初期スキャンが始まります。終了するまでしばらくお待ちください。

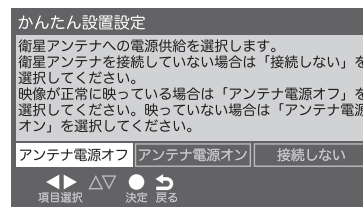
スキャンが終わると、地上デジタル放送チャンネルの設定内容を確認する画面が表示されます。



お知らせ

- ◀ を押すと、ひとつ前のメニューに戻ります。
- 自動設定された内容を変更したい場合は、「設置設定」で設定し直すことができます。(53 ページ)

6 衛星アンテナへの電源供給方法を選び、**決定** を押す



番組データを受信します。

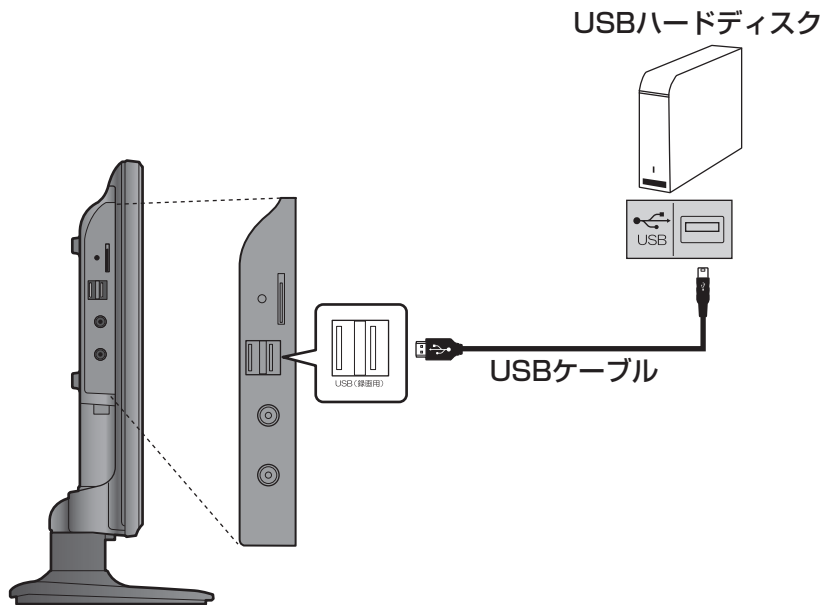
「かんたん設定はこれで終わりです。」と表示されたら **決定** を押します。

録画機の準備をする

本機に USB ハードディスク（別売り）を接続すると録画や録画予約ができます。

USB ハードディスクを接続する

本機側面の USB 端子（録画用）に接続します。



お知らせ

- 本機に接続できる USB ハードディスクの最大容量は 4TB です。
- 本機に接続できる USB ハードディスクについては、60 ページをご覧ください。
- 本機には 8 台までの USB ハードディスクを登録でき、そのうちの 2 台の USB ハードディスクを接続しておくことができます。
- 本機には USB ハブはご使用になれません。

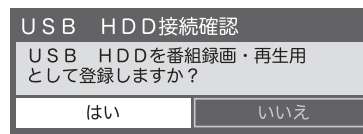
ご注意

- パソコンで使用していた USB ハードディスクを本機に接続して登録すると、保存していたデータはすべて消去されます。
- USB ハードディスクの動作中は、USB ハードディスクの電源を切ったり、USB ケーブルを抜いたりしないでください。保存した内容が消えたり、ハードディスクが故障したりする原因となります。
- ポータブルタイプの USB ハードディスクは正常に動作しない場合があります。必ず AC アダプターで駆動するタイプのハードディスクをお使いください。

新しい USB ハードディスクを登録する

USB ハードディスクを初めて接続したときは、初期化（フォーマット）が必要です。初期化をしないと録画できません。

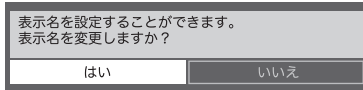
1 ◀▶ で「はい」を選び、(決定) を押す



2 このテレビでのみ再生可能であることの確認画面で ▶◀ で「はい」を選び (決定) を押す

3 初期化の確認画面で、▶◀ で「はい」を選び、(決定) を押す
初期化と登録が始まります。

4 表示名を変更する場合は、◀▶で「はい」を選び、(決定)を押す



変更する必要のない場合は「いいえ」を選びます。「はい」を選んだ場合は、文字入力画面が表示されるので、表示名を入力して(決定)を押します。半角 24 文字まで入力できます。

5 登録した USB ハードディスクを録画機器にする場合、◀▶で「はい」を選び、(決定)を押す

録画や予約をするときに、録画機器の初期候補が登録した USB ハードディスクになります。

ご注意

- 録画中および録画予約が設定されているときは、本機や USB ハードディスクの電源プラグや USB ケーブルを抜かないでください。
- 本機で初期化して登録した USB ハードディスクは本機以外のテレビやパソコンなどでは利用できません。

USB ハードディスクの設定をする

登録した USB ハードディスクの設定の変更、取りはずしのための設定および初期化などができます。

1 「メニュー」を押して、「機器設定」→「USB 機器管理」と選ぶ



USB 機器一覧が表示され、接続状態、表示名、録画可能時間などを確認できます。

2 設定する USB 機器を▲▼で選び、以降の手順で設定する



● 取り外すとき

(青) (取り外し) を押します。登録した機器を取り外すときは、必ずこのボタンを押します。

ご注意

- 本機に接続した USB ハードディスクは、必ずこの操作により安全に取り外してください。安全に取り外しを行わなかった場合、次回接続したときに、機器の認識に時間がかかったり、本機の動作が不安定になったりする可能性があります。

● 機器の詳細を確認するとき

(赤) (機器詳細) を押すと、登録した機器のメーカー名や容量などが表示されます。

● 登録を削除するとき

(黄) (登録削除) を押し、◀▶で「はい」を選び、(決定)を押します。

● 表示名を変更するとき

(緑) (表示名変更) を押し、文字入力画面で入力します。(赤) (終了) を押すと元の画面に戻ります。文字入力画面について詳しくは 38 ページをご覧ください。

外部機器を接続する

ヘッドホンで聞く

ヘッドホンのプラグを、本機の音声出力端子に接続します。

ご注意

- 鼓膜の保護のためヘッドホン音量を上げ過ぎないように注意してください。

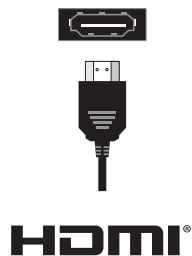
お知らせ

- ヘッドホンを接続したときは、「音声同時出力」で本機のスピーカーからも同時に音を出すか出さないかの設定ができます。同時に出す設定にしたときは、ヘッドホンの音量は「音量調整」で調整します。詳しくは 50 ページをご覧ください。

外部機器の映像と音声を本機で再生する

DVD プレーヤー、BD プレーヤー、オーディオ機器やビデオカメラ、ゲーム機などの AV 機器を接続して、本機で楽しむことができます。

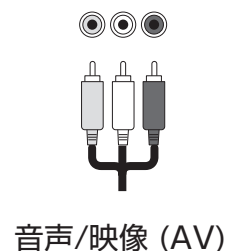
高精細、高画質に対応した出力端子に接続するとより画質の高い映像が楽しめます。接続する機器の出力端子に応じて、最適な接続方法をお選びください。



高

映像画質

標準



ご注意

- 接続する機器の取扱説明書をご確認のうえ接続してください。
- 接続の際は、必ず本機および接続する機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- プラグは奥まで完全に差し込んでください。差し込みが不完全だと、ノイズが発生する原因となります。

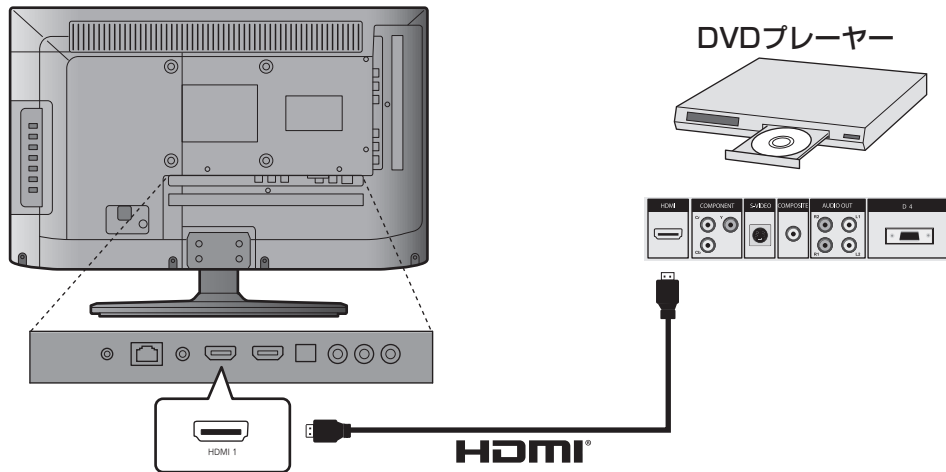
お知らせ

- 本機には接続に使用するケーブル類は付属していません。外部機器を接続する際は、あらかじめ必要なケーブル類をご確認のうえ、お客様にてご用意ください。

外部機器を接続する

● HDMI 入力端子を使う場合

HDMI 端子のある DVD プレーヤー、ケーブル TV や衛星放送のセットトップボックスなどを接続できます。HDMI ケーブルを接続するだけで、デジタル信号のまま映像信号と音声信号を入力することができます。

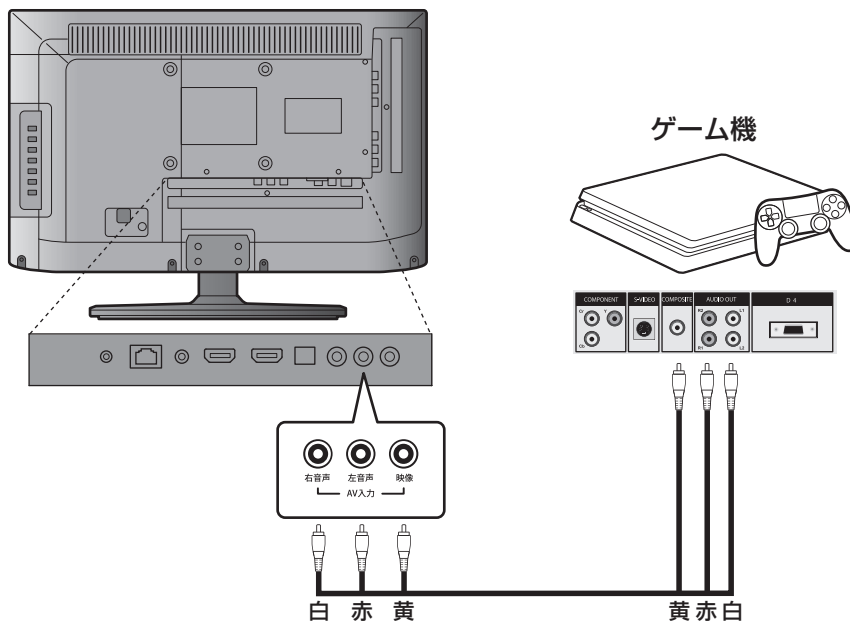


お知らせ

- HDMI の標準技術規格に対応した機器をお使いください。
- 本機の音声を外部機器に出力する場合は、HDMI 1 入力端子（ARC 対応）をお使いください。

● AV 入力端子を使う場合

ゲーム機、ビデオカメラなど AV 出力端子を持つ外部機器は、AV（RCA）ケーブルで本機の AV 入力端子に接続します。



外部機器を接続する

オーディオ機器にデジタル音声を出力する

本機の光デジタル音声出力端子に、AV アンプなどの光デジタル音声入力を接続することで、臨場感のある高音質な音声を楽しむことができます。

● ミニコンポなどにつなぐとき

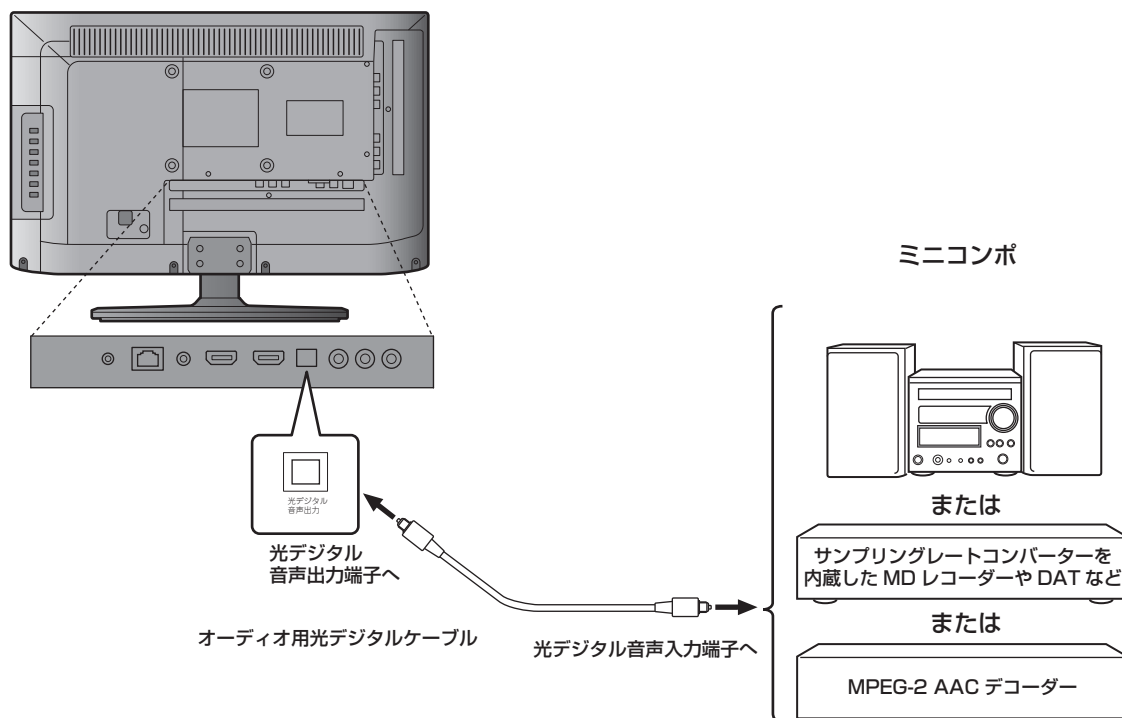
- 本機の音量を最小に調整し、ミニコンポなどの音響システム側で音量を調節してご使用ください。
- 音響システム側が対応しているデジタル音声入力に従って、23 ページの「デジタル音声出力の設定」をします。

● MD レコーダーや DAT につなぐとき

- サンプリングレートコンバーターを内蔵した MD レコーダーや DAT の光デジタル音声入力端子につながれば、高音質で録音して楽しむことができます。
- 23 ページの「デジタル音声出力の設定」で「PCM」を選びます。

● MPEG-2 AAC デコーダーにつなぐとき

- デジタル放送の MPEG-2 AAC 方式の信号を、MPEG-2 AAC デコーダーで楽しむことができます。
- 23 ページの「デジタル音声出力の設定」で「自動」または、「ビットストリーム」を選びます。



お知らせ

- 光デジタルケーブルのプラグには 2 種類の形状があります。接続する機器の形状に合ったケーブルをご用意ください。

● デジタル音声出力の設定

光デジタル音声出力端子や HDMI 1 入力端子から出力する音声信号を設定します。

お買い上げ時は「PCM」に設定されています。MPEG-2 AAC デコーダーや AAC デコーダー内蔵アンプをつなぐときは「自動」または「ビットストリーム」に設定します。

- 1 **メニュー** を押し ▲▼ で「音声設定」を選び、**決定** を押し
「音声設定」画面が表示されます。

- 2 ▲▼ で「デジタル音声出力」を選び、**決定** を押し

音声設定	
音声調整	標準
低音	0
高音	0
イコライザー	
バランス	0
サラウンド	オフ
ヘッドホン音量	25
音量自動調整	オフ
入力音量補正	0
デジタル音声出力	自動

- 3 ▲▼ で信号を選び、**決定** を押し

音声設定	
音声調整	標準
低音	0
高音	0
イコライザー	
バランス	0
サラウンド	オフ
ヘッドホン音量	25
音量自動調整	オフ
入力音量補正	自動
デジタル音声出力	PCM
	ビットストリーム

自動

サラウンド音声とリニア PCM の信号が自動で識別されます。

PCM

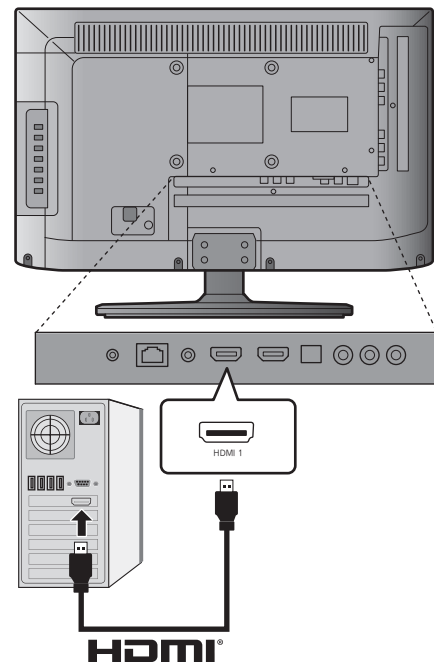
リニア PCM 信号が出力されます。

ビットストリーム

デジタル信号がそのまま伝達され、高音質な音声出力されます。

パソコンを接続する

HDMI 端子のあるパソコンを接続して、本機の液晶画面をパソコンのモニターとして使うことができます。



ご注意

- 接続するパソコンの取扱説明書をご覧のうえ、対応出力フォーマットなど仕様をご確認ください。
- 接続するパソコンによっては、内容を正しく表示できない場合があります。

お知らせ

- パソコンを接続する前に、パソコンの取扱説明書を確認し、テレビで表示できる画面設定（解像度、周波数）に変更してください。

外部機器を接続する

HDMI 設定

1 **メニュー** を押し ▲▼ で「機器設定」を選び、**決定** を押す

2 ▲▼ で「HDMI 設定」を選び、**決定** を押す

機器設定	
USB 機器管理	
録画設定	
視聴制限設定	
表示の設定	
HDMI 設定	
かんたん設定	
設置設定	
システム設定	
その他の設定	

3 ▲▼ で設定する項目を選んで **決定** を押し、右表の手順で設定する

HDMI 設定	
HDMI 連動	オン
電源入連動	オフ
電源切連動	オン
自動切	オフ
レコーダ操作	通常

4 **戻る** を押す

● HDMI 連動

HDMI の各種連動制御を使用するかどうかを設定します。

① ▲▼ で「オン」または「オフ」を選び、**決定** を押します。

● 電源入連動

連動機器の電源を入れたときに、本機に自動的に電源が入ります。

① ▲▼ で「連動する」または「連動しない」を選び、**決定** を押します。

● 電源切連動

本機の電源を切ったときに、連動機器の電源が自動的にオフになります。

① ▲▼ で「連動する」または「連動しない」を選び、**決定** を押します。

● 自動切

HDMI での操作が終わると連動機器の電源だけが自動的にオフになります。

① ▲▼ で「オン」または「オフ」を選び、**決定** を押します。

● レコーダ操作

HDMI レコーダーを操作するときに設定します。「拡大」を選ぶと、HDMI レコーダーの種類に応じて、操作に有効なボタンが追加されます。

入力表示設定

入力切換をするときに、使っていない入力をスキップ（飛び越す）したり、接続機器の種類を表示させたりできます。

1 **[Xメニュー]** を押し **▲▼** で「機器設定」を選び、**[決定]** を押す

2 **▲▼** で「表示の設定」を選び、**[決定]** を押す

3 **▲▼** で「入力表示」を選び、**[決定]** を押す

表示の設定	
字幕の設定	
入力表示	
タイトル表示	オン
時計表示	オフ

4 **▲▼** で「HDMI 1」「HDMI 2」「ビデオ」から表示を変更する外部入力を選び、**[決定]** を押す

入力表示	
HDMI 1	HDMI 1
HDMI 2	HDMI 2
ビデオ	ビデオ

5 **▲▼** で表示したい名称または「使用しない（スキップ）」を選び、**[決定]** を押す

HDMI 1
使用しない（スキップ）
ブルーレイ
DVD
レコーダー
ゲーム
CATV
チューナー
表示なし

以下の項目が選べます。

- HDMI 1 / HDMI 2 / ビデオ（変更なし）
- 使用しない（スキップ）
- ブルーレイ
- DVD
- レコーダー
- ゲーム
- CATV
- チューナー
- 表示なし

<変更後 **[入力切換]** を押したときの表示>

入力切換	
テレビ	
HDMI 1	
HDMI 2 [ブルーレイ]	
ビデオ	

HDMI スピーカー選択設定

音声を本機のスピーカーで再生するか、接続したHDMI 機器で再生するかを設定します。

1 **[Xメニュー]** を押し **▲▼** で「HDMI 機器設定」を選び、**[決定]** を押す

サブメニュー	
HDMI 機器設定	
オフタイマー	オフ
予約一覧	
チャンネル設定	
3桁入力選局	
視聴制限一時解除	
アンテナレベル	
枝番選局	
信号切換	
データ放送表示切	

2 「HDMI 機器選択」で HDMI 機器を選び、**[決定]** を押す

HDMI 機器設定	
HDMI 機器選択	HDMI
スピーカー選択	TV

3 「スピーカー選択」で「TV」か「外部」を選び、**[決定]** を押す

お知らせ

- 本機の音声を外部機器に出力する場合は、HDMI 1 入力端子（ARC 対応）をお使いください。

通信設定をする

本機背面の LAN 端子にネットワークケーブルをつなぐと、双方向通信のデータ放送や独立データ放送などをお楽しみいただけます。ご契約のプロバイダーから設定内容の指定がある場合は、それをもとに「通信設定」をします。

- 1 **メニュー** を押し ▲▼ で「通信設定」を選び、**決定** を押す

「通信設定」画面が表示されます。

- 2 ▲▼ で「ネットワーク接続」を選んで **決定** を押す



- 3 以下の手順に従って設定する

本機の名前 / IPアドレス / DNS 設定	
本機の名前変更	Japan TV
IPアドレス	自動取得
IPアドレス	
サブネットマスク	
ゲートウェイ	
DNSアドレス	自動取得
DNS	
プロキシ設定	

● 本機の名称変更

ネットワーク上で表示する本機の名称を変更したいときに設定します。

● IPアドレス

インターネットに接続するために本機に割り当てられる、固有の番号を設定します。

※「IP アドレス」を「手動設定」に設定した場合は、「DNS アドレス」は、自動的に「手動設定」に設定されます。その場合は、DNS アドレスを手動で設定してください。

- 1 ▲▼ で「IP アドレス」を選び、**決定** を押す

- 2 IP アドレスを自動取得できる場合は、▲▼ で「自動取得」を選ぶ

< IP アドレスを自動取得できないネットワーク環境の場合 >

- ① ▲▼ で「手動設定」を選ぶ
 - ② ▲▼ で「IP アドレス」を選び、**01** ~ **1070** で入力する
 - ③ ▲▼ で「サブネットマスク」を選び、**01** ~ **1070** で入力する
 - ④ ▲▼ で「ゲートウェイ」を選び、**01** ~ **1070** で入力する
- ②~④では 0 ~ 255 の範囲の数字（左端の欄は 0 以外）を 4 箇所の欄に入力します。
 - ▲▼▶ で選び、**01** ~ **1070** で番号入力、◀ で訂正、**決定** で設定完了。

- 3 **決定** を押す

● DNSアドレス

ドメイン名を IP アドレスに置き換える機能を持ち、IP アドレスで特定されている DNS サーバーを設定します。

※「IP アドレス」を「手動設定」に設定した場合は、「DNS アドレス」は自動的に「手動設定」に設定され、「自動取得」にはできません。DNS アドレスを手動で設定してください。

- 1 ▲▼ で「DNS アドレス」を選び、**決定** を押す

- 2 DNS アドレスを自動取得できる場合は、▲▼ で「自動取得」を選ぶ

< DNS アドレスを自動的に割り当てられないネットワーク環境の場合 >

- ① ▲▼ で「手動設定」を選ぶ
 - ② ▲▼ で「DNS」を選び、**01** ~ **1070** で入力する
- ②では 0 ~ 255 の範囲の数字（左端の欄は 0 以外）を 4 箇所の欄に入力します。
 - 欄を移動するには、◀▶ を押します。

- 3 **決定** を押す

● プロキシ設定

インターネットとの接続時にプロキシ（代理）サーバーを経由する場合に設定します。

- ご契約のプロバイダーから指定がある場合にだけ設定してください。
- ここでのプロキシ設定は HTTP に関するものです。

1 ▲▼で「プロキシ設定」を選び、(決定)を押す

2 ▲▼で「アドレス」を選び、(決定)を押す

3 HTTP プロキシアドレスを入力し、(決定)を押す

- 入力できる文字は半角英字／半角数字で、記号は半角です。

4 ▲▼で「ポート番号」を選び、(1)～(10%)でポート番号を入力する

5 (戻る)を押す

ネットワーク状態を確認する

インターネットに正しく接続しているかどうかテストします。

1 「通信設定」画面で「ネットワーク状態」を選んで(決定)を押す

接続テスト結果が表示されます。

<正しく接続されなかったときは>

再接続確認を行ってください。再接続確認を行っても接続できないときは、「ネットワーク接続」からやり直してください。

アンテナの方向調整

アンテナの方向調整

「かんたん設定」をしてもデジタル放送が正しく受信できなかったときは、お買い上げの販売店などにご相談のうえ、以下の操作でアンテナの方向調整をしてください。

以下は地上デジタル放送のアンテナの調整例です。

1 **[メニュー]** を押し ▲▼ で「機器設定」を選び、**[決定]** を押す

2 ▲▼ で「設置設定」を選び、**[決定]** を押す

3 ▲▼ で「受信設定」を選び、**[決定]** を押す



「受信設定」画面が表示されます。

4 ▲▼ で「地上」を選び、**[決定]** を押す



受信レベルが表示されます。

5 アンテナをゆっくり動かして、「アンテナレベル」の数値が最大となるように調整する
アンテナレベルの増減に応じて、棒グラフが表示されます。



6 アンテナを固定して、**[決定]** を押す

お知らせ

- 衛星放送の受信レベルは手順2で「衛星」を選び、同様に確認します。
- 視聴中に**[F1]** から「アンテナレベル」を選んで受信レベルを確認することもできます。

テレビを見る

リモコンで番組を選ぶ

- 1 リモコンの **電源** または本体背面の電源ボタンを押す
前面の電源ランプが緑色に点灯します。
しばらくすると、前回見ていたチャンネルが表示されます。
- 2 **地デジ**、**BS**、**CS** で地上デジタル放送、BS 放送または CS 放送を選ぶ
- 3 数字ボタン (①~⑫)、チャンネル **へ** **下** ボタンまたはチャンネル番号を入力してチャンネルを選ぶ
 - チャンネル **へ** **下** ボタンを押すたびにチャンネルが順送りに切り換わります。
 - チャンネル番号を入力するときは、**3桁入力** を押し、3桁のチャンネル番号を入力します。

お知らせ

- **3桁入力** を押して「3桁入力選局」を選んでも3桁入力画面が表示されます。

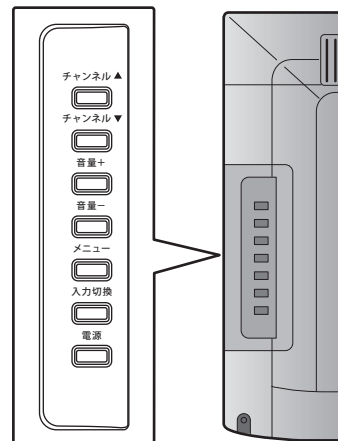
本体の操作ボタンの機能について

本体背面の各操作ボタンを押すと、以下の操作ができます。

- チャンネル▲▼：①テレビ視聴中に押すとチャンネルを切り換え
②各設定メニューで押すとカーソルを上下移動 (▲:上、▼:下)
③「入力切換」画面で押すと入力モードを選択
- 音量+/-：①テレビ視聴中に押すと音量を調節
②各設定メニューで押すとカーソルを左右移動 (+:右、-:左)
- メニュー：①テレビ視聴中に押すと設定メニュー画面を表示
②各メニューで押すと前の画面へ戻る (設定メニュー画面まで戻って再度押すと、設定メニューを終了)
- 入力切換：①テレビ視聴中に押すと「入力切換」画面を表示
②各設定メニューで押すと選択決定
- 電源：①待機状態で押すと電源入
②テレビ視聴中に押すと待機状態



操作



テレビを見る

番組表を見る

デジタル放送では、放送局から送られてくる番組情報をもとに、新聞や雑誌などのテレビ番組欄のような放送局別の番組一覧を見ることができます。現在から最大7日先までの放送予定を確認できます。

1 放送視聴中に「番組表」を押す

視聴中の放送の番組表が表示されます。

放送の種類を変更するには「地デジ」、「BS」、「CS」のいずれかを押します。

番組を選んで「決定」を押すと、番組の詳細情報を表示します。

「地デジ」／「BS」／「CS」ボタンで
番組表を切り替え

表示している番組表
の日いち

現在日時

7チャンネル分の番組表を
表示

6時間分の番組表を表示

選択中の番組情報

「メニュー」で番組表サブメニュー
を表示

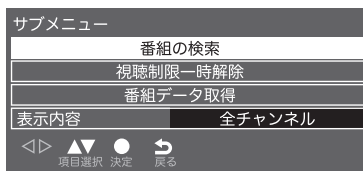
「緑」／「黄」ボタンで前日／
翌日に移動

2 番組表を消すには、「戻る」、「番組表」または「終了」を押す

● 番組表サブメニュー

番組表表示中に「メニュー」を押すと、番組表サブメニューが表示され項目を選択できます。

- 番組の検索
- 視聴制限一時解除
- 番組データ取得
- 表示内容



お知らせ

- 「表示内容」で「設定チャンネル」を選ぶと、選局したチャンネルだけの番組表を表示します。毎日同じ表示チャンネルとしたい場合、あらかじめ「メニュー」⇒「機器設定」⇒「その他の設定」⇒「選局対象」で設定チャンネルを選択しておきます（54ページ）。

視聴予約を設定する

- 1 放送視聴中に **番組表** を押す
番組表が表示されます。
- 2 ▲▼◀▶ で予約したい番組を選び、**決定** を押す
- 3 番組説明を確認して、「視聴予約」を選び、**決定** を押す



「予約が完了しました」のメッセージが表示され、番組表の予約した番組のボックスに青い **予** マークが付きます。

ご注意

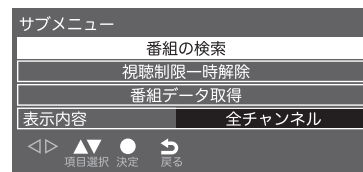
- 視聴予約を設定後、電源を切ると予約は取り消されます。

● 視聴予約を取り消す

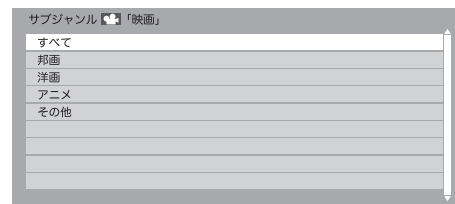
- 1 予約した番組を選び、**決定** を押す
- 2 番組説明を確認して、◀▶ で「予約削除」を選び、**決定** を押す
番組表の予約した番組のボックスの青い **予** マークが消えます。

検索条件を指定して番組を探す

- 1 放送視聴中に **番組表** を押す
- 2 **ジャンル** を押す
- 3 ▲▼ で「番組の検索」を選び、**決定** を押す



- 4 ▲▼ で「ジャンル検索」を選び、**決定** を押す
- 5 検索条件を指定する
 - ① ▲▼ でメインジャンルを選び、**決定** を押す
 - ② ▲▼ でサブジャンルを選び、**決定** を押す



- 6 「番組検索結果」画面から、見たい番組を ▲▼ で選び、**決定** を押す
- 7 ▲▼◀▶ で「録画予約／視聴予約」を選び、**決定** を押す

テレビを見る


データ放送を見る


● データ放送とは



- BS デジタル放送や地上デジタル放送では、映像や音声による通常のテレビ放送以外に、データ放送があります。
- データ放送は「ニュース」や「天気」のように最新情報をタイムリーに提供するサービスと、放送中の番組に関連した情報をその時間帯のみ提供する番組連動型サービスがあります。

● 連動データ放送を楽しむ


テレビ放送チャンネルで、天気予報やニュース、番組案内などのデータ放送を提供している場合があります。

1  を押す
放送局により、表示される内容が異なります。
画面に表示される操作指示に従って操作してください。

2 ▲▼◀▶ で移動し、 を押す
指定した情報が表示されます。

3  を押すと、通常の画面に戻ります
 を押しても終了します。

お知らせ

- 放送画面の操作説明などで、 ボタンは「d ボタン」、「データボタン」、「データ放送ボタン」と表示される場合があります。

● デジタル放送の双方向サービス

インターネット回線を利用し、視聴者側が番組にクイズの回答を送信したり、リクエストをしたりできます。


地上デジタル放送の双方向サービスには、放送番組に連動した通信サービスと、放送番組とは無関係な通信サービスがあります。

お知らせ

- デジタル放送の双方向サービスを利用するには、本機裏面の LAN 端子にネットワークケーブルを接続して、「通信設定」でインターネットへの接続を設定する必要があります。
- 放送データの取得中は、一部の操作ができないことがあります。

接続した機器の映像を見る（入力切換）

本体背面の外部入力端子に接続した BD プレーヤー、DVD プレーヤーやビデオデッキなどの映像を見るときは、入力切換をします。

1  を押す
「入力切換」画面が表示されます。



2  を繰り返し押して、入力モードを選ぶ

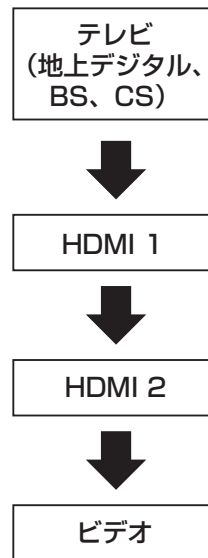
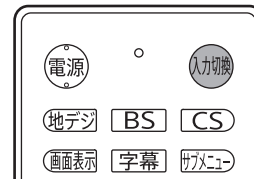


お知らせ

- テレビ視聴中で OSD 表示がないときに本体背面の入力切換ボタンを押すと入力切換ができます。
- 音量は本機のリモコンで調節します。その他の操作は接続した機器の取扱説明書に従って操作してください。
- 「入力切換」画面で使っていない入力をスキップ（飛び越す）したり、接続機器の種類を表示させたい場合は、25 ページの「入力表示設定」をご覧ください。

テレビの映像を静止させる

1  を押す
解除するときは  をもう一度押します。
映像が静止中でも音声は流れ続けます。
静止中は画面右上に **静止** が表示されます。



便利な機能を使う

画面サイズを変える

視聴している番組に適した画面サイズを選ぶことができます。

1 **[メニュー]** を押し **▲▼** で「映像設定」を選び、**(決定)** を押し

2 **▲▼** で「画面の設定」を選び、**(決定)** を押し

映像設定	
MPEGノイズ低減	強
高度な設定	切
詳細調整	
シネマ設定	
画面の設定	
調整の初期化	

3 **▲▼** で「画面サイズ切替」を選び、**(決定)** を押し

画面の設定	
画面サイズ切替	
オーバースキャン	オン
両横ノイズカット	標準
垂直位置/大きさ	
4:3映像設定	ジャスト

「画面サイズ切替」画面が表示されます。

4 「自動」「フル」「ジャスト」「ノーマル」「ズーム」を選び、**(決定)** を押し

自動
フル
ジャスト
ノーマル
ズーム

自動

自動的に画面サイズを検知して最適なサイズで表示します。お買い上げ時は「自動」に設定されています。

フル

16:9の映像をそのままのアスペクト比で表示します。

ジャスト

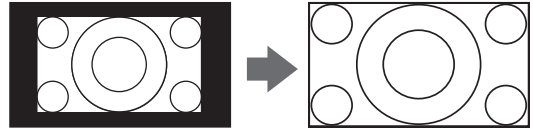
4:3映像を画面サイズに合わせて拡大します。

ノーマル

4:3映像をオリジナルのまま表示します。

ズーム

上下左右に黒帯のある映像を画面いっぱいに表示します。



画面の位置や幅を調整する

画面の表示位置や大きさを調整します。

ご注意

- 「4:3映像設定」が「ノーマル」の場合は調整できません。
- 映像の種類と画面サイズによっては、調整できない場合があります。

1 **[メニュー]** を押し **▲▼** で「映像設定」を選び、**(決定)** を押し

2 **▲▼** で「画面の設定」を選び、**(決定)** を押し

3 **▲▼** で「垂直位置/大きさ」を選び、**(決定)** を押し

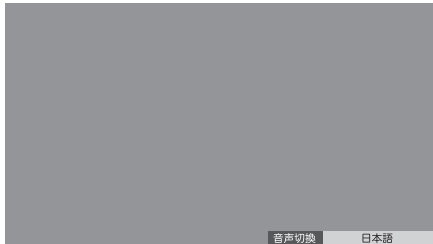
画面の設定	
画面サイズ切替	
オーバースキャン	オン
両横ノイズカット	標準
垂直位置/大きさ	
4:3映像設定	ジャスト

4 **▲▼** で垂直位置を、**◀▶** で画面サイズを調整し、**(決定)** を押し

垂直位置/大きさ			
◀	▲▼	●	▶
サイズ	垂直位置	戻す	戻る

音声を切り換える

- 1 **音声切換** を押す
押すたびに別の音声に切り換わります。



お知らせ

- 受信している放送によって音声切換表示は異なります。

● サブメニューで音声切換の設定をする

以下の手順で「信号切換」画面を表示し、設定します。

- 1 **切換** を押す
- 2 ▲▼で「信号切換」を選び **決定** を押す
「信号切換」画面が表示されます。

信号切換	
マルチビュー	主番組
映像	映像 1
音声	日本語
二重音声	主
データ	ニュース・天気・
字幕	オン
字幕言語	日本語

- 音声 日本語／英語を選ぶことができます。
- 二重音声 主／副などを選ぶことができます。

消音する

- 1 **消音** を押す
画面左下に **消音** が表示されます。



- 2 元に戻すには、もう一度 **消音** を押す
音量+/-ボタンを押しても音が出ます。

チャンネル情報を見る

画面表示 を押すと、現在受信中のチャンネル番号・音声情報・映像情報などが表示されます。

- 1 **画面表示** を押す
チャンネル番号、放送局名、現在時刻、番組名、放送時間などが表示されます。



録画しているチャンネルの画面で「録画中」と表示されます。

しばらくすると、画面上部の番組名は消えて、チャンネルの表示だけになります。

- 2 表示を消すには、もう一度 **画面表示** を押す

便利な機能を使う

字幕を表示する

字幕放送番組で字幕をオンにすると、画面に字幕が表示されます。お買い上げ時は「字幕オフ」に設定されています。

字幕放送番組は、番組表の番組説明に「字」のアイコンが表示されています。

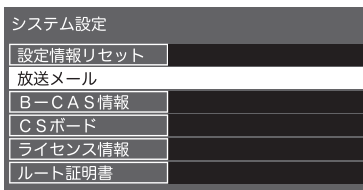
- 1 「字幕」を押す
「字幕」を押すたびにオン/オフを切り換えることができます。
 - 字幕の設定については 52 ページをご覧ください。

放送メール

放送メールには、「放送局からののお知らせ」と「本機に関するお知らせ」があります。

未読のお知らせがあると、「画面表示」を押したときに画面に「お知らせアイコン」が表示されます。

- 1 「メニュー」を押す
- 2 ▲▼で「機器設定」を選び、「決定」を押す
- 3 ▲▼で「システム設定」を選び、「決定」を押す
- 4 ▲▼で「放送メール」を選び、「決定」を押す



- 5 ▲▼で放送メールの種類を選び、「決定」を押す
 - 放送局からののお知らせ ... デジタル放送局からののお知らせです。
 - 本機に関するお知らせ ... 予約などについて本機が発行したお知らせです。

- 6 ▲▼で読みたい放送メールを選び、「決定」を押す

ご注意

- 「放送局からののお知らせ」は、地上デジタルが7通まで記憶され、BS デジタルと 110 度 CS デジタルは、合わせて 24 通まで記憶されます。(放送局の運用によっては、それよりも少ない場合もあります) 記憶できる数を超えて受信した場合は、古いものから順に削除されます。
- 「本機に関するお知らせ」は既読の古いものから順に削除される場合があります。

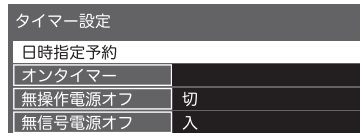
CS ボード

110 度 CS デジタル放送からの視聴者に向けたお知らせです。各 50 通まで表示されます。

オンタイマーを使う

設定した時刻に本機の電源が「入」になります。オンタイマーは、デジタル放送を受信していない場合や時刻情報を取得していない場合には使用できません。

- 1 「メニュー」を押す
- 2 ▲▼で「タイマー設定」を選び、「決定」を押す
- 3 ▲▼で「オンタイマー」を選び、「決定」を押す



4 ▲▼で設定する項目を選び、**決定**を押す

オンタイマー	
オンタイマー	切
時刻	11:50
音量	20
放送/入力	地上D
チャンネル	011
チャンネル名	NHK総合1・東京
設定を変更する場合は「切」にしてください。	

オンタイマー

オンタイマーを使用する、使用しないを設定します。

時刻

◀▶で移動し数字ボタンで時刻を入力します。

音量

オンタイマーで電源が「入」になったときの音量を設定します。

◀▶でお好みの音量を選びます。

放送/入力

▲▼で「設定しない/地上D/BS/CS/HDMI1/HDMI2/ビデオ」から選びます。

チャンネル

オンタイマーで電源が「入」になったときに、視聴するチャンネルを設定します。

▲▼でチャンネルを選びます。

- チャンネル：指定された放送の種類やメディアに該当するチャンネル

チャンネル名

設定したチャンネルの放送局名が表示されます。

5 本機の電源を切る

自動で電源が切れるようにする

● オフタイマー

オフタイマーを設定すると、設定時間後に電源が切れて、待機状態になります。

1 **切タイ**を押す

2 ▲▼で「オフタイマー」を選び、**決定**を押す

サブメニュー	
HDMI機器設定	
オフタイマー	オフ
予約一覧	
チャンネル設定	
3桁入力選局	
視聴制限一時解除	
アンテナレベル	
枝番選局	
信号切換	
データ放送表示切	

3 ▲▼で「90分」「60分」「30分」「オフ」から選び**決定**を押す

90分
60分
30分
オフ

お知らせ

- 電源が切れる3分前になると、画面にメッセージが表示されます。
- リモコンの**切タイ**を押してもオフタイマー画面を表示できます。

● 無操作電源オフ/無信号電源オフ

1 **Xメニュー**を押す

2 ▲▼を押して「タイマー設定」を選び**決定**を押す

3 項目を選び◀▶で「入/切」を選択する

- 無操作電源オフ
しばらくの間無操作状態が続くと自動で電源が切れて、待機状態になります。
- 無信号電源オフ
しばらくの間信号を受信しない状態が続くと自動で電源が切れて、待機状態になります。

便利な機能を使う

文字を入力する

ハードディスクの表示名を変更するなど文字を入力する場合には、文字入力画面が表示されます。

● 入力モード切換え

緑 (文字切換え) を押すと、文字入力モードの切換えが行えます。

- **かな** ひらがなや漢字を入力
- **カナ** カタカナを入力
- **英数** 英字や数字を入力
- **数字** 数字を入力

● 画面キーボードでの文字入力

画面に表示される文字入力キーボードで、**▲▼◀▶** で文字を選び **決定** を押します。

	一	や	あ	わ	ら	や	ま	は	な	た	さ	か	あ	かな
改行	「	ゆ	い	を	り	ゆ	み	ひ	に	ち	し	き	い	漢字変換
空白	」	よ	う	ん	り	よ	む	ふ	ぬ	つ	す	く	う	赤 終了
キーボード移動	!	っ	え	、	れ	め	へ	ね	て	せ	け	え	緑 文字切換え	
入力位置移動	?	わ	お	。	る	も	ほ	の	と	そ	こ	お	黄 文字クリア	

青 : 漢字変換 (画面キーボードのみ)

赤 : 確定 / 終了

緑 : 文字切換え

黄 : 文字クリア

● リモコンでの文字入力

1 下の表のようにリモコンの 1 ~ 12 で文字を入力する

入力例：らっぱ

[9]、[4](6回)、[6][10](2回)

- ら っ ぱ
- 文字に続けて [10] を押すと、濁点「゛」や半濁点「゜」の入力ができます。
 - 同じボタンで文字を続けて入力するときは、次の文字の入力前に **▶** を押します。
 - 途中で文字を挿入するときは、挿入する箇所から入力します。
 - 入力した文字を削除するときは、**黄** (文字クリア) を押します。

2 文字を確定する

- 漢字に変換しない場合は、**決定** を押します。
- 漢字変換する場合は、**▼** を繰り返します。変換されたら、**決定** を押します。漢字が見つからない場合は、**◀▶** で再度変換します。

3 入力が完了したら、**決定** を押す

お知らせ

- 文字入力を画面キーボードで行うかリモコンのキーで行うかは「その他の設定」の「文字入力設定」から行うことができます。詳しくは 54 ページをご覧ください。

● リモコン入力文字一覧

• 最後の候補まで進むと、最初の候補に戻ります。

リモコン	入力文字の種類			
	かな	カナ	英数	数字
1	あいうえおあいうえお 1	アイウエオアイウエオ 1	@./:~_#\$\$%*+=^1	1
2	かきくけこ 2	カキクケコカキクケコ 2	abcABC2	2
3	さしすせそ 3	サシスセソ 3	defDEF3	3
4	たちつてとっ 4	タチツテトッ 4	ghiGHI4	4
5	なにぬねの 5	ナニヌネノ 5	jkIJKL5	5
6	はひふへほ 6	ハヒフヘホ 6	mnoMNO6	6
7	まみむめも 7	マミムメモ 7	pqrPQRS7	7
8	やゆよやゆよ 8	ヤユヨヤユヨ 8	tuvTUV8	8
9	らりるれろ 9	ラリルレロ 9	wsyzWXYZ9	9
10	゛ ゜ ｡ ？ ! ・ () 0	゛ ゜ ｡ ？ ! ・ () 0	-,"'?!&¥()<>[]{}0	0
11	わをんわー	ワワンワー	_(スペース)	*
12	逆方向へ入力 *1	逆方向へ入力 *1	逆方向へ入力 *1	#

※ 1 文字入力変換で通り過ぎた場合に、逆方向へ戻ります。

録画・予約をする

録画機能について

● USB ハードディスクに録画できる番組

本機に接続した USB ハードディスクに録画できるのは、地上デジタル放送番組と、BS/110 度 CS デジタル放送番組です。外部入力からの映像、音声については録画できません。

ご注意

- 録画できるのは本機で受信した放送番組です。データ放送の内容は録画できません。

● USB ハードディスクの接続・設定と録画前の準備

接続・設定

- 本機に USB ハードディスクを接続しておきます (18 ページ)。

録画前の準備

- USB ハードディスクの残量を確認します。
- 残量不足や番組数超過になりそうな場合は、不要な番組を削除しておきます (44 ページ)。

ご注意

- 本機に登録していない USB ハードディスクでは録画できません。
- 録画や録画予約の操作をしたときに接続した機器が選択できない場合は、上記ページを参照し、接続・設定を確認してください。
- 2 台同時に USB ハードディスクに録画することはできません。
- 本機で動作確認済みの USB ハードディスクについては、60 ページを参照してください。

● 録画・予約の種類

録画・予約の種類	記載ページ
見ている番組を録画する	40 ページ
番組表から録画予約する	40 ページ
録画する日時を指定して録画予約する	41 ページ

ご注意

- USB ハードディスクの最大予約件数は 64 件です。また、最大総番組数は 3000 件です。
- 録画中に、本機や USB ハードディスクの電源プラグを抜いたり (停電なども含む)、USB ケーブルを抜き差ししたりすると、本機や USB ハードディスクの故障の原因になります。USB ハードディスクの認識不良、録画番組が消去されるなど、本機の動作が不安定になる場合があります。
- 録画中に停電したり、電源プラグを抜いたりすると、途中まで録画した番組は残りません。

重要なお知らせ

万一、本機の故障や故障による修理、受信障害などによって録画・録音、録画データの再生ができなくなった場合の補償は一切できませんので、あらかじめご了承ください。

● 録画可能時間の目安



リモコンの [残量] を押すと接続している USB ハードディスクの残量を確認できます。録画可能時間は表示される時間よりも少なくなることがあります。

- USB ハードディスクの残量時間表示は、BS デジタル放送の HD 放送 (24Mbps) を基準に算出しています。録画可能時間表示はあくまでも目安としてご確認ください。






録画・予約をする

見ている番組を録画する

現在視聴しているデジタル放送番組を録画します。

- 1  を押す
見ている番組の録画が始まります。
 で録画が終了します。

番組表から録画予約する

- 1  を押す
- 2  で録画したい番組を選び、 を押す
- 3 番組説明を確認して、 で「録画予約」を選び、 を押す





- 視聴予約.....指定した番組の視聴予約
- 録画予約.....指定した番組の録画予約

- 4 「録画予約設定」画面で「予約する」を選び  を押す



「予約する」「毎週予約する」「自動録画する」「詳細設定」から選びます。

- 5 「予約が完了しました。」が表示されたら、 を押す

番組表に録画予約済みの赤い  アイコンが表示されます。

お知らせ

- 番組の変更があった場合、予約どおりに動作しないことがあります。
- 複数の番組が連続して予約されている場合、番組の最後の部分が録画されません。
- 予約の確認や取消しについては、42 ページをご覧ください。

録画する日時を指定して録画予約する

1 **[メニュー]** を押す
設定メニューが表示されます。

2 **▲▼** で「**タイマー設定**」を選び、**[決定]** を押す

設定メニュー	
映像設定	
音声設定	
通信設定	
タイマー設定	
機器設定	
機器情報	

3 **▲▼** で「**日時指定予約**」を選び、**[決定]** を押す

タイマー設定	
日時指定予約	
オンタイマー	
無操作電源オフ	切
無信号電源オフ	入

「時間指定予約」画面が表示されます。

4 録画予約の日時やチャンネルを設定する

時間指定予約		
予約方式	<input type="checkbox"/> 見るだけ	<input type="checkbox"/> 録画
放送種別/チャンネル	BS 103	
曜日/日	X月12日(金)	
開始時刻	X月12日	10:00
終了時刻	--	--
録画機器	---	
その他の設定		
予約せず戻る		
予約する		

① 設定する項目を **◀▶** で選び、**▲▼** で日時を設定する

- 6週間先まで指定できます。
- 設定できる時間は最大12時間です。

② 設定が終わったら、**[決定]** を押す

5 **▲▼** で「**予約する**」を選び、**[決定]** を押す

6 「**予約が完了しました。**」が表示されたら、**[決定]** を押す

お知らせ

- 予約の確認や取消しについては、42ページをご覧ください。

録画設定の変更

「詳細設定」より録画の設定内容を変更します。

1 **[番組表]** を押す

2 **▲▼◀▶** で録画予約した番組を選び、**[決定]** を押す

3 **◀▶** で「**設定変更**」を選び、**[決定]** を押す
「予約削除」を選択すると予約を取り消すことができます。

4 **▲▼** で「**詳細設定**」を選び、**[決定]** を押す

5 以下の項目から変更したい項目を選んで変更する

- 予約方式.....「見るだけ」「録画」を **◀▶** で選びます。
- 録画機器.....複数のUSBハードディスクを接続しているときに、録画先を選びます。
- その他の設定....「録画番組のプロテクト」で録画する番組を消さないよう保護できます。プロテクトされた録画番組は録画一覧に **🔒** が表示されます。
- 時間指定予約....録画終了時間を設定できます。

録画・予約をする

録画を中止する

録画を途中でやめるときは、以下の操作をします。ハードディスクの残量がなくなった場合は録画が自動的に停止します。

● 視聴している番組を録画中のとき

- 1 **停止** を押す
録画が停止します。

● 録画予約で録画中のとき

- 1 **停止** を押す
録画の中止を確認するメッセージが表示されます。
- 2 **◀▶** で「はい」を選び、**決定** を押す
録画が停止します。

● 予約リストサブメニュー

予約リストが表示されているときに **予約** を押すと、予約リストサブメニューが表示され以下の項目が選択できます。

- 視聴制限一時解除
- 全履歴削除



録画予約に関するお知らせ

● 録画予約と他の録画や視聴予約が重なった場合、「録画予約」が優先

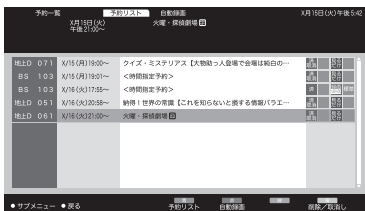
録画予約と他の録画や視聴予約が重なった場合、録画予約が最優先され、他の録画や視聴予約は中止、または取り消しとなります。

録画予約	優先1位		
●からの録画 録画	×	優先2位	
視聴予約	×	×	優先3位

予約の確認・取消しをする

録画予約した内容の確認、取り消しができます。

- 1 **予約** を押す
サブメニューが表示されます。
- 2 **▲▼** で「予約一覧」を選び、**決定** を押す
予約リストが表示されます。



- 3 **▲▼** で予約を確認する番組を選び、**決定** を押す

- 4 予約を取り消すときは、**◀▶** で「予約削除」を選び、**決定** を押す
予約が取り消されます。

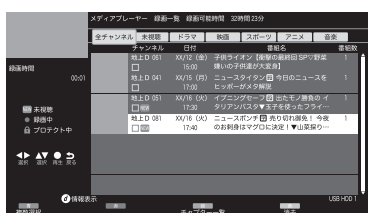
録画した番組を再生する

録画番組を再生する

USB ハードディスクに録画・保存されている番組を見るには、以下の操作をします。

● 再生の基本操作

- 1 **録画リスト** を押す
録画一覧が表示されます。



録画一覧には、番組の簡単な情報や、USB ハードディスクへの録画可能時間などが表示されます。

- 録画一覧には以下のアイコンが表示されます。
 - NEW**：未視聴
 - ：録画中
 - 🔒：プロテクト中
- **緑** (チャプター一覧) を押すと選んだ番組のチャプター一覧が表示されます。

- 2 ▲▼で見たい番組を選び、**決定** を押す
どこから再生するか確認画面が表示されたら
◀▶で「続きから再生」「最初から再生」を選び **決定** を押します。

- 選んだ番組の再生が始まります。(再生されるまでに時間がかかる場合があります)
- 番組の最後まで再生が終わると、そのまま静止状態になり、しばらくすると録画一覧に戻ります。
- 再生中にできるリモコン操作については、44 ページを参照してください。

- 3 再生を停止させるには、**停止** を押す

- 録画一覧の画面に戻ります。
- 録画番組の再生を終了するときは、**終了** を押すか、または選局の操作などをします。

ご注意

- 電源を入れた直後は USB ハードディスクの認識に時間がかかることがあります。その場合は、しばらく待ってから再度録画一覧を開いてください。
- 本機で録画した番組は、本機でのみ再生できます。他のテレビ (同じ形式のテレビも含む) では再生できません。
- USB ハードディスクに録画した番組を再生中に、本機や USB ハードディスクの電源プラグを抜いたり (停電なども含む)、USB ケーブルを抜き差ししたりすると、本機や USB ハードディスクの故障の原因になります。USB ハードディスクの認識不良、録画番組が消去されるなど、本機の動作が不安定になる場合があります。

● 録画中の番組を再生する

録画が終了するまで待たずに、録画中の番組の冒頭から再生します。

- ① 録画中の番組を選び、**決定** を押す

お知らせ

録画一覧について

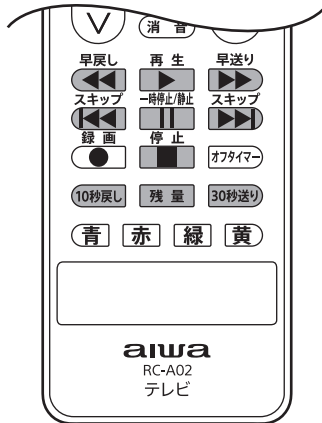
- 録画開始直後の番組は、録画一覧に表示されるまで少し時間がかかります。

● 録画番組の情報や番組説明を見る

- ① 再生中に **画面表示** を押す
再生中の番組の情報が表示されます。
- ② 表示を消すには、もう一度 **画面表示** を押す

録画した番組を再生する

● 録画番組の再生中にできるリモコン操作



ボタン	内容
再生 	録画番組の再生を開始します。
一時停止/静止 	再生中に押すと一時停止になります。 ● 一時停止中にもう一度押すと、再生が再開されます。
停止 	再生を停止し、録画一覧に戻ります。
早送り 	早送り再生をします。(押すたびに速さが変わります)
早戻し 	早戻し再生をします。(押すたびに速さが変わります)
30秒送り 	再生中に押すと、30秒ほど先に進んで再生します。
10秒戻し 	再生中に押すと10秒ほど戻って再生します。
スキップ 	前のチャプターまでスキップします。
スキップ 	次のチャプターまでスキップします。
残量 	USBハードディスクの録画可能な残量を確認できます。
録画リスト 	再生中に押すと、録画一覧が表示されます。

● 録画一覧サブメニュー

録画一覧を表示中に **[ザグ]** を押すと、録画一覧サブメニューが表示され以下の項目が選択できます。

- USB HDD 選択
- 視聴制限一時解除
- プロテクト設定変更

● 番組名編集



録画した番組を保護する

録画した番組を誤って削除しないように保護できます。

* 録画中にこの操作はできません。

1 **[録画リスト]** を押す

2 ▲▼で保護する番組を選び、**[ザグ]** を押して ▲▼で「プロテクト設定変更」を選び、**[決定]** を押す

- 選んだ番組が保護されます。(🔒 がつきます)
- 同じ操作でプロテクトを解除できます。

録画した番組を削除する

1 **[録画リスト]** を押す

2 ▲▼で削除する番組を選び、**[黄]** (消去) を押す

3 確認画面で、**[左]** で「はい」を選び、**[決定]** を押す

● 複数選択して削除する

1 録画一覧の画面で **[青]** (複数選択) を押す
選んだ番組のチェックボックスにチェックが入ります。

2 **[黄]** (消去) を押し、**[左]** で「はい」を選んで **[決定]** を押す

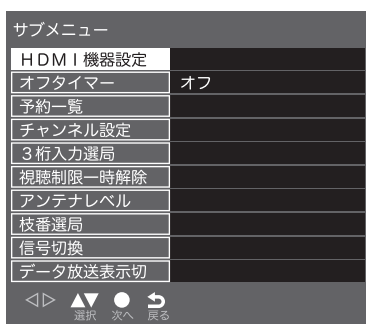
メニュー画面について

本機では、設定メニュー画面とサブメニュー画面から、さまざまな設定ができます。

サブメニュー画面

設定画面まで移動しなくても、簡単な設定ができたり、表示している画面に応じたサブメニューで便利な操作を行ったりすることができます。

- 1 OSD表示がないときに **[F1]** を押す
サブメニュー画面が表示されます。



• HDMI 機器設定

HDMI の各機器やスピーカーを選択します。詳しくは 25 ページをご覧ください。

• オフタイマー

自動で電源を切るよう設定できます。詳しくは 37 ページをご覧ください。

• 予約一覧

視聴予約、録画予約の一覧リストを表示します。詳しくは 42 ページをご覧ください。

• チャンネル設定

受信できるチャンネルを設定します。詳しくは 53 ページをご覧ください。

• 3桁入力選局

数字ボタンで3桁を入力して選局します。



• 視聴制限一時解除

視聴制限を一時的に解除します。

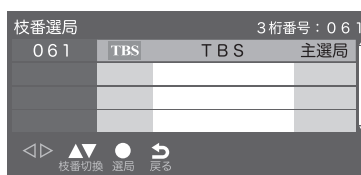
• アンテナレベル

現在視聴中の放送局の受信レベルを確認します。



• 枝番選局

現在視聴中の放送局の枝番選局ができます。



• 信号切換

現在視聴中の番組の映像や音声を切り換えます。



• データ放送表示切

この項目が表示されている場合は、データ放送の表示を中止できます。

お知らせ

- メニューを表示したまま一定の時間が経過すると、自動的にメニュー表示が消えます。
- **[戻る]** を押すと、ひとつ前のメニューに戻ります。

● その他のサブメニュー

• 番組表サブメニュー

詳しくは 30 ページをご覧ください。

• 予約リストサブメニュー

詳しくは 42 ページをご覧ください。

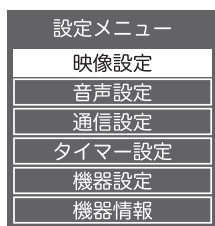
• 録画一覧サブメニュー

詳しくは 44 ページをご覧ください。

メニュー画面について

設定メニュー画面

- 1 **メニュー** を押す
設定メニュー画面が表示されます。



お知らせ

- メニューを表示したまま一定の時間が経過すると、自動的にメニュー表示が消えます。
- **戻る** を押すと、ひとつ前のメニューに戻ります。

● 設定メニュー一覧

分類	設定内容	設定項目	ページ
映像設定	お好みに合わせて映像を設定したり画質を調整したりできます。	画質動作選択	47
		バックライト	
		コントラスト	
		黒レベル調整	
		色の濃淡	
		色あい	
		輪郭強調	
		色温度	
		動的コントラスト	
		ノイズ低減	
		MPEG ノイズ低減	
		高度な設定	48
		詳細調整	
		シネマ設定	
画面の設定			
		調整の初期化	

分類	設定内容	設定項目	ページ
音声設定	お好みに合わせて音声を設定したり音質を調整したりできます。	音声調整	49
		低音	
		高音	
		イコライザー	
		バランス	
		サラウンド	50
		ヘッドホン音量	
		音量自動調整	
		入力音量補正	23
		デジタル音声出力	
		音声同時出力	50
		調整の初期化	
通信設定	双方向サービスを利用するために必要なインターネットへの接続を設定します。	ネットワーク接続	26
		ネットワーク状態	
タイマー設定	日時を指定した録画予約や自動で電源を入れたり切ったりする設定をします。	日時指定予約	41
		オンタイマー	36
		無操作電源オフ	37
		無信号電源オフ	
機器設定	外部機器の設定や本機のシステム設定などをします。	USB 機器管理	19
		録画設定	51
		視聴制限設定	
		表示の設定	52
		HDMI 設定	24
		かんたん設定	17
		設置設定	53
		システム設定	54
		その他の設定	
		機器情報	本機の ID 情報を表示します。

映像設定メニュー

[メニュー] を押し設定メニュー画面の「映像設定」を選んで [決定] を押します。

映像設定	
画質動作選択	標準
バックライト	100
コントラスト	90
黒レベル調整	50
色の濃淡	50
色合い	0
輪郭強調	50
色温度	中
動的コントラスト	オン
ノイズ低減	強

現在選択されている入力モード（テレビ、ビデオ、HDMI）の映像を、お好みの画質に調整できます。

お知らせ

- 項目によっては選択できないものがあります。

画質動作選択

あらかじめシーンに合わせた映像設定が用意されています。お好みに合わせて設定を切り換えてお楽しみいただけます。

自動
鮮やか
標準
居間
映画
映画プロ
おこのみ

- 自動**
受信信号に合わせて画質を自動で調整します。
- 鮮やか**
日中の明るい場所で見るときに適した設定です。
- 標準**
落ち着いた雰囲気で見るときに適した設定です。
- 居間**
明るいリビングで見るときに適した設定です。
- 映画**
映画を見るときに適した設定です。
- 映画プロ**
暗くした部屋で映画を見るときに適した設定です。
- おこのみ**
映像をお好みの画質に調整します。

画質の調整

お好みに合わせて画質を調整できます。

- バックライト**
バックライトの明るさを調整します。
- コントラスト**
設定値が低いほど明暗の差が弱まり、設定値が高いほど明暗の差が強調されます。
- 黒レベル調整**
設定値が低いほど暗く、設定値が高いほど明るくなります。
- 色の濃淡**
設定値が低いと色が薄く、設定値が高いと色が濃くなります。
- 色あい**
設定値が低いと紫っぽく、設定値が高いと緑っぽくなります。
- 輪郭強調**
設定値が低いほど輪郭がぼやけ、設定値が高いほど輪郭がくっきり表示されます。
- 色温度**
「高／中／低」で正確な色を再現できるよう調整します。高は寒色系に、低は暖色系になります。
- 動的コントラスト**
暗い画面で光量を小さくする調整をします。「オン／オフ」から選びます。
- ノイズ低減**
映像の乱れを少なくします。「強／中／弱／オフ」から調整します。
- MPEG ノイズ低減**
DVD やハードディスクレコーダーの長時間録画モードの映像などに出やすいノイズを軽減します。「強／中／弱／オフ」から調整します。

映像設定メニュー

高度な映像調整

映像をより詳細に調整したいときに設定します。

- 高度な設定
「入」を選ぶと、以下の詳細調整ができます。

● 詳細調整

詳細調整	
黒伸長	8
ホワイトバランス	
ガンマ設定	
調整の初期化	

- 黒伸長
ばらつきの多い黒レベルを一定に揃えます。0 から 15 の間で調整します。
- ホワイトバランス
RGB それぞれのゲインとそれぞれのカットオフを -50 から +50 の間で微調整します。

ホワイトバランス	
Rゲイン	0
Gゲイン	0
Bゲイン	0
Rカットオフ	0
Gカットオフ	0
Bカットオフ	0
調整の初期化	

- ガンマ設定
映像の暗い部分と明るい部分の階調のバランスを 1.8 から 2.6 までの 5 段階から調整します。

シネマ設定

よりリアルに映画を楽しめるシネマリアリティの「オン/オフ」を設定します。

画面の設定

画面のサイズや位置などを調整します。

画面の設定	
画面サイズ切替	
オーバースキャン	オン
両横ノイズカット	標準
垂直位置/大きさ	
4:3映像設定	ジャスト

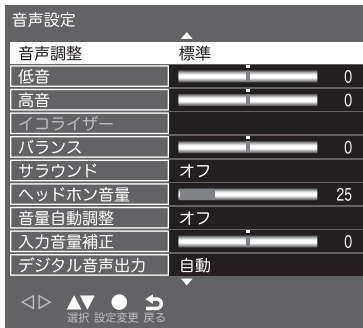
- 画面サイズ切替
番組に適した画面サイズを選びます。詳しくは 34 ページをご覧ください。
- オーバースキャン
- 両横ノイズカット
画面両横に見られる映像ノイズを調整します。
- 垂直位置/大きさ
画面の表示位置や大きさを調整します。詳しくは 34 ページをご覧ください。
- 4:3 映像設定
4:3 映像の画面を「ノーマル/ジャスト」から選んで設定します。

調整の初期化

映像調整を出荷時の状態に戻します。確認画面で「はい」を選びます。

音声設定メニュー

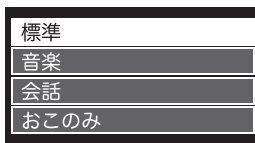
[メニュー] を押し設定メニュー画面の「音声設定」を選んで [決定] を押します。



現在選択されている入力モード（テレビ、ビデオ、HDMI）の音声を、お好みの音質に調整できます。

音声調整

あらかじめシーンに合わせた音声設定が用意されています。お好みに合わせて設定を切り換えてお楽しみいただけます。



- **標準**
ほとんどのシーンに合う一般的な設定です。
- **音楽**
音楽シーンに適した設定です。
- **会話**
人の音声が聞き取りやすくなる設定です。
- **おこのみ**
音声をお好みの音質に調整します。

音質の調整

お好みに合わせて音質を調整できます。

- **低音**
設定値が小さいほど低音を弱め、設定値が大きいほど低音を強調します。
- **高音**
設定値が小さいほど高音を弱め、設定値が大きいほど高音を強調します。
- **イコライザー**
特定の周波数域を増幅、減衰することにより音質を調整します。「音声調整」を「おこのみ」に設定したときにだけ有効になります。
- **バランス**
左右の音声出力のバランスを調整します。設定値が小さいほど左側を、設定値が大きいほど右側を強調します。
- **サラウンド**
ステレオ音声を自然な広がり感を持ったサラウンドで再生する機能です。「オン」「オフ」で切り換えます。

音声設定メニュー

音量調整

ヘッドホン音量や入力音量の補正を設定します。

- **ヘッドホン音量**

ヘッドホン音量  25

ヘッドホンで聞くときの音量を 0 から 100 の間で設定します。出荷時は 25 に設定されています。

- **音量自動調整**

「オン/オフ」から設定します。

- **入力音量補正**

音量を -6 から +6 の間で調整します。

ご注意

- 鼓膜の保護のためヘッドホン音量を上げ過ぎないように注意してください。

デジタル音声出力

光デジタル音声出力端子や HDMI 1 入力端子から出力する音声信号を設定します。詳しくは 23 ページをご覧ください。

音声同時出力

音声を外部機器とテレビから同時に出力するかを設定します。

調整の初期化

音声調整を出荷時の状態に戻します。確認画面で「はい」を選びます。

機器設定メニュー

[メニュー] を押し設定メニュー画面の「機器設定」を選んで [決定] を押します。



機器設定メニューでは外部機器の設定や初期設定、システム設定などができます。

USB 機器管理

USB 機器一覧を表示し、取り外しや登録の削除などができます。詳しくは 19 ページをご覧ください。



番組録画中の操作はできません。

録画設定

録画をするときの設定をします。



● 自動予約

録画予約した番組の次回の録画を自動で予約するかどうかを「オン/オフ」で設定します。

● 録画ボタン設定

録画ボタンを押して録画したときの録画終了時間を「番組終了/3時間録画」から設定します。

● オートチャプター

録画一覧の画面で表示するチャプターを自動で作成するかを「オン/オフ」で設定します。

● USB HDD 待機

USB 機器を待機状態にするかどうかを「オン/オフ」で設定します。

視聴制限設定

視聴制限の設定をします。



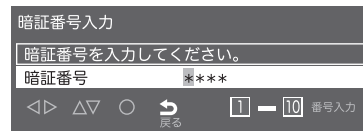
● 視聴年齢の制限を設定する

デジタル放送では番組ごとに視聴年齢が設定されている場合があります。視聴年齢制限のある番組を見るには、暗証番号を設定した状態で、以下の設定をする必要があります。

1 「視聴制限設定」画面で「視聴制限設定」を選び、[決定] を押す

暗証番号を入力する画面が表示されます。

2 [1]~[10]で暗証番号を入力する



3 ◀▶で年齢を設定し、[決定]を押す

設定できる年齢は、4才から19才までです。



● 暗証番号を設定・変更する

視聴年齢制限のある番組を見るには、暗証番号の設定が必要です。

1 「視聴制限設定」画面で「暗証番号設定」を選び、[決定] を押す

暗証番号を入力する画面が表示されます。

暗証番号を変更する場合は、すでに設定されている暗証番号を入力します。

機器設定メニュー

2 ①~⑩で新しく設定する暗証番号を入力する



3 確認のため、新しく設定する暗証番号をもう一度入力する

4 (決定) を押す
暗証番号が設定されます。

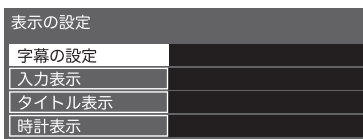
● 暗証番号を削除する

1 「視聴制限設定」画面で「暗証番号削除」を選び、(決定) を押す

2 ①~⑩で現在設定されている暗証番号を入力する
確認画面が表示されます。

3 ◀▶で「はい」を選び、(決定) を押す
暗証番号が削除されます。

表示の設定



● 字幕の設定をする

字幕の日本語／英語表示を切り換えます。

1 「表示の設定」画面で「字幕の設定」を選び、(決定) を押す
「字幕の設定」画面が表示されます。



2 ▲▼で「字幕」を選び、「オン／オフ」を選び (決定) を押す

3 ▲▼で「字幕言語」を選び、「日本語／英語」を選び (決定) を押す

● 文字スーパーの設定をする

文字スーパーの設定をします。

1 「表示の設定」画面で「字幕の設定」を選び、(決定) を押す

2 ▲▼で「文字スーパー」を選び、「オン／オフ」を選び (決定) を押す

3 ▲▼で「文字スーパー言語」を選び、「日本語／英語」を選び (決定) を押す

● その他の表示の設定

● 入力表示

入力切換をするときに表示される外部入力機器を設定します。詳しくは 25 ページをご覧ください。

● タイトル表示

(画面表示) を押したときに番組タイトルを表示するか「オン／オフ」で設定します。

● 時計表示

画面左下に時計を表示するかを設定します。

HDMI 設定

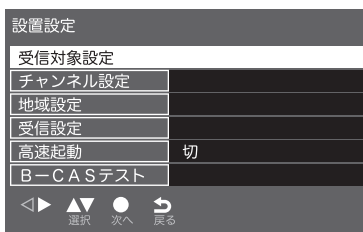
HDMI 機器を接続したときの動作を設定します。詳しくは 24 ページをご覧ください。

かんたん設定

引越しなどでお住まいの地域が変わったときには「かんたん設置設定」を行ってください。詳しくは17ページをご覧ください。

設置設定

本機を設置するときに設定します。



● 受信対象設定

BSとCSを「使う／使わない」から選びます。



● チャンネル設定



● 地上デジタル／BS／CS

引越した場などこのメニューからチャンネルを設定します。状況に応じて「初期スキャン」か「再スキャン」を選びます。

購入後初めて設定する場合や違う地域に引っ越した場合は、「初期スキャン」を選びます。現在の内容がクリアされ、自動的に受信できるチャンネルをスキャンし、設定します。

「再スキャン」を選ぶと、スキャン後にすべてを設定し直すか、現在の設定に追加するかを選択できます。手動で設定するときには「マニュアル」を選びます。

● チャンネル設定修正

①～⑫に、どのチャンネルを割り当てるかを設定します。

以下の画面は「BS」を選んだときの画面です。

リモコン	CH	チャンネル	種類
1	101	NHKBS1	テレビ
2	103	NHKBSプレミアム	テレビ
3	141	BS日テレ	テレビ
4	151	BS朝日1	テレビ
5	161	BS-TBS	テレビ
6	171	BSジャパン	テレビ
7	181	BSフジ・181	テレビ
8	191		テレビ
9	200		テレビ
10	211		テレビ
11	222		テレビ
12	233		テレビ

1 ▲▼で変更したいリモコンの数字を選び、(決定)を押す

2 必要に応じて、(緑) (入換) を押して変更する

3 (戻る) (終了) を押す

● 地域設定

お住まいの地域と郵便番号を設定しておくことにより、データ放送で、地域の情報を得ることができます。



● 県域設定

▲▼で県域を選び(決定)を押します。

● 郵便番号

①～⑩で郵便番号を入力します。「0」は⑩で入力します。

● 受信設定

「地上」で地上デジタル受信設定を、「衛星」で衛星受信設定を行います。

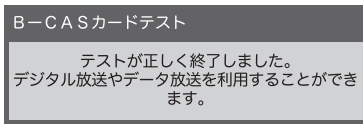
● 高速起動

電源を入れたときの起動を高速にするかを「入／切」で選びます。

機器設定メニュー

● B-CAS テスト

本機にセットされている miniB-CAS カードの状態をテストします。正常な場合は「テストが正しく終了しました。デジタル放送やデータ放送を利用することができます。」と表示されます。



システム設定

B-CAS 情報やルート証明書などを表示したり、放送メールを確認したりできます。

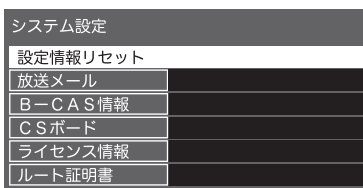
● 設定情報リセット

本機の廃棄を目的に、全ての設定情報を削除します。登録した機器の情報も失われるため、USB HDD に録画した番組は見ることができなくなります。

ただし、暗証番号は消去されませんので事前に視聴制限設定で暗証番号を削除してください。

1 ▲▼で「システム設定」を選び (決定) を押す

2 ▲▼で「設定情報リセット」を選び (決定) を押す



3 ◀▶で「はい」を選び (決定) を押す

ご注意

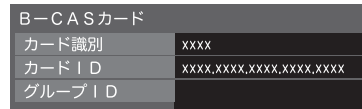
- 初期化を行うと、初期化前の状態に復元することはできません。

● 放送メール

放送局から受信したお知らせなどを一覧で表示します。詳しくは 36 ページをご覧ください。

● B-CAS 情報

B-CAS カードの識別番号などを表示します。



● CS ボード

110 度 CS デジタル放送局から送られてくる情報や案内が表示されます。



● ライセンス情報

本機のライセンス情報を表示します。

● ルート証明書

ルート証明書を表示します。ルート証明書は、地上デジタル放送の双方向サービスで、本機と接続するサーバーの認証をする際に使用されます。

その他の設定

文字入力設定などその他の設定です。

● 文字入力設定



● 入力方法

リモコンのボタンで入力するか画面に表示されるキーボードで入力するかを選びます。

● 変換方式

通常方式か予測方式かを選びます。

● 選局対象

選局対象を「設定チャンネル」「テレビのみ」「全チャンネル」から選びます。

設定チャンネル：チャンネル設定で設定したチャンネル

テレビのみ：独立データ放送を除くテレビ放送のみ

全チャンネル：放送されているすべてのチャンネル

故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に、もう一度次のことをご確認ください。

こんな場合は故障ではありません

- 画面上に赤や青、緑に点灯したままの点や、点灯しない黒い点がある
液晶画面は非常に精密な技術で作られています、ごくわずかの画素欠けや常時点灯する画素がある場合があります。
- キャビネットから「ピシッ」というきしみ音がする
部屋の温度変化でキャビネットが伸縮するときに発生する音です。画面や音声などに異常がなければ心配ありません。
- 本機の内部から「カチッ」という音がする
本機は、電源が待機状態のときに番組情報取得などの動作をします。このときに、内部から「カチッ」という音が聞こえることがあります。

全般

症状	原因や対処のしかた
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none">• 電源コードがコンセントから抜けていませんか？ →電源コードの接続を確認してください。
リモコンが操作できない	<ul style="list-style-type: none">• リモコンを本機のリモコン受光部に向けていますか？• お部屋の蛍光灯の強い光がリモコン受光部に当たっていませんか？ →リモコン受光部に強い光を当てないでください。• 乾電池が消耗していませんか？ →新しい乾電池に交換してください。• 乾電池の極性（＋）が逆になっていませんか？ →正しく入れ直してください。
突然電源が切れた	<ul style="list-style-type: none">• オフタイマーを設定していませんか？ →オフタイマーの設定を確認してください。• 操作しない状態や信号を受信しない状態が長く続いていませんか？ →タイマー設定の「無操作電源オフ」や「無信号電源オフ」の設定を確認してください。

故障かな？と思ったら

映像

症状	原因や対処のしかた
テレビの映像が出ない	<ul style="list-style-type: none">• アンテナケーブルが正しく接続されていますか？ →アンテナケーブルの接続を確認してください。• 明るさは正しく調整されていますか？ →「バックライト」や「コントラスト」を調整してください。
外部機器の映像が出ない	<ul style="list-style-type: none">• 外部機器と正しく接続されていますか？ →外部機器の接続と電源を確認してください。
映像も音声も出ない	<ul style="list-style-type: none">• 電源コードのプラグがコンセントから抜けていませんか？ →電源コードの接続を確認してください。• 電源は入っていますか？ →電源を入れてください。• 入力切換は合っていますか？ →リモコンまたは本体の入力切換ボタンの入力切換操作で、入力を切り換えてください。
映りが悪い 映像や音声にノイズが混じる 映像や音声が出なくなることがある 映像が静止することがある	<ul style="list-style-type: none">• アンテナケーブルが正しく接続されていますか？• アンテナの向きが、風や振動によって変わっていませんか？ →アンテナを調整し直し、確実に固定してください。• アンテナケーブルの劣化が考えられます。販売店にご相談ください。• 天候による電波の減衰や、強風時のアンテナの揺れなどが考えられます。雷雨や豪雨の中では、受信電波が弱くなり、また雪がアンテナに積ると受信状態が悪くなるため、一時的に映像や音声が止まったり、場合によってはまったく受信できなくなったりすることがあります。天候の回復を待ってください。
色合いが悪い、色が薄い	<ul style="list-style-type: none">• 色の濃さ、色合いは正しく調整されていますか？ →「色の濃淡」や「色あい」を調整してください。
画面が暗い	<ul style="list-style-type: none">• 明るさは正しく調整されていますか？ →「バックライト」や「コントラスト」を調整してください。

音声

症状	原因や対処のしかた
テレビや外部機器の音声がでない	<ul style="list-style-type: none"> • 音量が最小になっていませんか？ • 「消音」状態になっていませんか？ • ヘッドホンが接続されていませんか？

デジタル放送

症状	原因や対処のしかた
地上デジタル放送が受信できない	<ul style="list-style-type: none"> • miniB-CAS カードは正しく挿入されていますか？ →挿入方向を確認して、カチッと音がするまで挿入してください。
BS/110 度 CS デジタル放送が受信できない	<ul style="list-style-type: none"> • 付属の miniB-CAS カードを挿入しましたか？ →他のテレビに付属の mini-B-CAS カードをお使いの場合は、BS/110 度 CS デジタル放送が受信できないことがあります。必ず本機に付属の miniB-CAS カードをお使いください。
110 度 CS デジタル放送が受信できない	<ul style="list-style-type: none"> • 110 度 CS デジタル放送に対応したアンテナやケーブルをお使いください。
引越したら、地上デジタル放送が受信できなくなった	<ul style="list-style-type: none"> • 「設置設定」の「チャンネル設定」をやり直してください。
番組表が表示されない 表示されるチャンネルが少ない	<ul style="list-style-type: none"> • お買い上げ時、または長時間電源を切った状態のあとは、番組表の表示に時間がかかる場合があります。しばらく視聴すると表示されます。

故障かな？と思ったら

録画

症状	原因や対処のしかた
USBハードディスクが認識されない	<ul style="list-style-type: none">• 本機に対応したUSBハードディスクですか？ →本機で動作確認済みの機器をお使いください。対応している機器については、60ページをご覧ください。• USBハードディスクが正しく接続されていますか？ →USBハードディスクを正しく接続してください（18ページ）。 USBハブを経由した場合は正しく動作しないことがあります。• USBハードディスクが本機に登録されていますか？ →USBハードディスクを本機に登録してください（18ページ）。
録画できない	<ul style="list-style-type: none">• USBハードディスクの電源が入っていますか？ →電源オンが必要なUSBハードディスクの場合は、電源をオンにしてください。• USBハードディスクの空き容量が不足していませんか？ →不要な番組を削除してください（44ページ）。• 録画できない映像ではありませんか？ →コピー禁止の番組や、独立データ放送、外部入力からの映像・音声は録画できません。• 放送開始時刻が変更されていませんか？ →録画予約した番組の放送開始時刻が繰り上げられた場合は録画できません。放送開始時刻が変更になり録画できなかった場合は、「システム設定」メニューの「放送メール」で確認できます。
録画した番組が再生できない	<ul style="list-style-type: none">• 本機で録画した番組は、本機以外ではご覧になれません。

主な仕様

● 製品仕様

シリーズ名	H10S	
品名	ハイビジョン液晶テレビ	
型番	TV-19H10S	
画面サイズ	19V型 (19 inch)	
本体	寸法	444(W) × 151(D) × 329(H)mm
	質量	約 2.8 kg
チューナー	受信チャンネル	地上デジタル：UHF(13～62ch) CATVパススルー対応
		BS デジタル：BS000～BS999
	チューナー数	110度CSデジタル放送：CS000～CS999 地上デジタル×1 BS・110度CSデジタル×1
解像度	1366 × 768	
コントラスト比	1000:1	
応答速度	5ms	
視野角	170° /160°	
スピーカー	チャンネル	2チャンネル
	出力	3W+3W
入出力端子	アンテナ端子	地上デジタル×1/BS・110度CSデジタル×1
	ビデオ入力	AV入力 (RCA) × 1
	HDMI 端子	HDMI (Ver.1.4a 標準規格) × 2
		ARC 対応 (HDMI 1)、CEC 対応
	音声出力	φ 3.5 mmステレオヘッドホンジャック×1
		光デジタル音声出力×1
LAN	LAN ポート (RJ45) × 1 ※データ放送用	
USB (録画専用)	USB2.0 端子×2	
データ放送	双方向データ放送 (BML) 対応	
番組表	電子番組表 (EPG) 対応：7チャンネル/6時間分表示/8日分受信	
録画機能	留守録対応	
	最大録画件数：64	
	最大録画番組数：3000	
電源	電源電圧	AC100V 50 / 60Hz
	消費電力	35W
	待機電力	0.5W
	年間消費電力	50kWh/年
	省エネ達成率	165%
使用環境	温度：0℃～40℃ /20%～80% RH (結露なきこと)	
壁掛け金具ネジ穴寸法 (VESA 規格対応)	VESA 100 × 100 mm M4 × 8 mm (本体付属)	
付属品	スタンドベース×1、スタンドベース固定用ネジ×3、リモコン×1、リモコン用単4形乾電池 (テスト用) ×2、miniB-CASカード×1、取扱説明書・製品保証書×1、B-CASカードスロットカバー×1、カバー用ネジ×1	

主な仕様

● リモコン

型番	RC-A02
電源	DC3V（単4形乾電池×2）
質量	約110g（乾電池含まない）
操作距離	約8m（ただし直進）

* 製品仕様は予告なく変更されることがあります。

年間消費電力とは：省エネルギー法に基づいて型サイズや受信機の種類別の算定式により、一般家庭での平均視聴時間を基準に算出した1年間に使用する電力量です。

このテレビは日本国内専用です。海外では使用できません。

● 動作確認済み外付けUSBハードディスク一覧

動作確認済み外付けUSBハードディスクは以下のホームページをご確認ください。

発売元	検索アドレス
エレコム社製	http://www.elecom.co.jp/rd/tv/1.html
BUFFALO 社製	http://buffalo.jp/search/tv/
アイ・オー・データ機器社製	http://www.iodata.jp/pio/maker/aiwa/hdd/aiwa.htm

保証とアフターサービス

●保証書

- 取扱説明書巻末に保証書があります。所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

●アフターサービスについて

調子が悪いときは

この説明書をもう1度ご覧になってお調べください。

それでも調子が悪いときは

アイワ修理ご相談窓口またはお買い上げ店にご相談ください。

保証期間中の修理は

製品保証書と下記無料修理規定の記載内容に基づいて修理させていただきます。

保証期間経過後の修理は

アイワ修理ご相談窓口またはお買い上げ店にお問い合わせください。

部品の保有期間について

補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後8年間保有しています。ただし、故障の状況その他の事情により、修理に代えて製品交換をする場合がありますのでご了承ください。

●無料修理規定

1. 正常な使用状態で保証期間内に製品が故障した場合には、本書に従い無償修理をさせていただきます。本書記載の修理対応の種別（持込修理、引取修理）をご確認の上、以下の要領でご依頼及び本書の提示・提出をお願いいたします。なお、受付窓口の種類はお買い上げの販売店または本書に記載の相談窓口となります。

種別	保証書の提示・提出
出張修理	出張修理担当者が訪問した際に提示
持込修理	持参した製品の修理依頼の際に提示
引取修理	製品の引取時に指定業者へ提出

- 離島およびこれに準ずる遠隔地への出張修理となる場合は、出張に要する実費をいただきます。

2. お客様のご要望により、出張修理の種別について引取修理を、持込修理の種別について出張修理・引取修理を、引取修理の種別について出張修理を行う場合は、別途所定の料金を申し受けます。
3. 保証期間内の故障でも次の場合には有料となります。
 - (1) 本書の提示がない場合。
 - (2) 本書にお買い上げ日・お客様名・販売店名の記入がない場合、または字句を書き換えられた場合。
 - (3) 保証期間中に発生した故障について保証期間終了後に修理依頼された場合。
 - (4) 使用上の誤り（取扱説明書・本体貼付ラベル等の注意書きに従った正常な使用をしなかった場合を含む）による故障・損傷。
 - (5) お買い上げ後の輸送、落下などによる故障・損傷。
 - (6) 火災・地震・風水害・落雷・その他天災地変、公害・塩害・異常電圧などによる故障・損傷。
 - (7) 一般家庭用以外（業務用など）に使用された場合の故障・損傷。
 - (8) 他の機器から受けた障害または不当な修理、改造による故障・損傷。
 - (9) 消耗・摩耗した部品の交換、汚損した部分の交換。
4. 故障の状況その他事情により、修理に変えて製品交換する場合がありますのでご了承ください。
5. 修理に際して再生部品・代替え部品を使用する場合があります。また、修理により交換した部品は弊社が任意に回収の上、適切に処理・処分させていただきます。
6. 本書に基づく無料修理（製品交換を含む）後の製品については、最初のご購入時の保証期間が適用されます。
7. 故障によりお買い上げの製品を使用できなかったことによる損害については保証致しません。
8. 記録媒体を搭載または使用する製品の場合、故障の際または修理・交換により記録内容が消失等する場合がありますが、記録内容についての保証は致しません。
9. 本書は日本国内のみで有効です。(This warranty is valid only in Japan.)

個人情報の取り扱いと商標について

● 個人情報の取扱いについて

弊社ではお客様の個人情報やご相談内容をご相談への対応や修理、確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。

また、個人情報を適切に管理し、正当な理由がある場合を除き、第三者には提供しません。

● 商標について

ACCESS™
NetFront®

- 本製品は、株式会社 ACCESS の NetFrontBrowser を搭載しています。ACCESS、NetFront は、日本国およびその他の国における株式会社 ACCESS の商標または登録商標です。
©2009 ACCESS CO., LTD. All rights reserved.

HDMI®
HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

- HDMI, High-Definition Multimedia Interface、および HDMI ロゴは、米国およびその他の国における HDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または、登録商標です。

製品保証書

品名	地上波 /BS/110 度C S デジタルハイビジョン液晶テレビ
型番	TV-19H10S
製造番号	
お買い上げ日	年 月 日
保証期間	お買い上げの日から 1年
修理対応の種別	持込修理

本保証書は、本記載内容で製品本体の無料修理を行う事をお約束するものです。(取扱説明書記載の無料修理規定をお読みください。) お買い上げ日から上記期間中に故障が発生した場合は、ご記入の上、修理をお申し付けください。

●本書は再発行しませんので大切に保管ください。

お客様		様
ご住所	〒□□□-□□□□	電話 - -

●ご販売店様へ

お買い上げ日、貴店名、住所、電話番号を記入の上、保証書はお客様へお渡しください。

販売店	
-----	--

ご相談窓口

商品、操作方法やトラブルに関するご相談、お問合せ

以下のような内容はお客様ご相談窓口にお問合せください。

- ・製品の仕様及び使い方について
- ・うまく動かない場合
- ・接続方法について
- ・その他ご相談事項

アイワお客様ご相談窓口



0570-062-312

受付時間：平日 9時～17時（土日、祝祭日、長期連休を除く）

※ナビダイヤルは一部の電話ではご利用になれない場合がございます。

- アイワお客様ご相談窓口では、修理のご依頼、修理品に関するお問合せ、部品依頼に関するお問合せは対応できませんので、「アイワ修理ご相談窓口」にお問合せください。

修理のご依頼及び部品や修理品に関するお問合せ

以下のような内容は修理ご相談窓口にお問合せください。

- ・故障について
- ・修理のご相談、ご依頼
- ・付属品、部品のご依頼

アイワ修理ご相談窓口



0570-000-271

〒350-0269 埼玉県坂戸市につさい花みず木5丁目7-3

受付時間：平日 9時～17時（土日、祝祭日、長期連休を除く）

※ナビダイヤルは一部の電話ではご利用になれない場合がございます。

- アイワ修理ご相談窓口では、商品の操作方法、接続方法に関するお問合せ、トラブルに関するお問合せは対応できませんので、「アイワお客様ご相談窓口」にお問合せください。